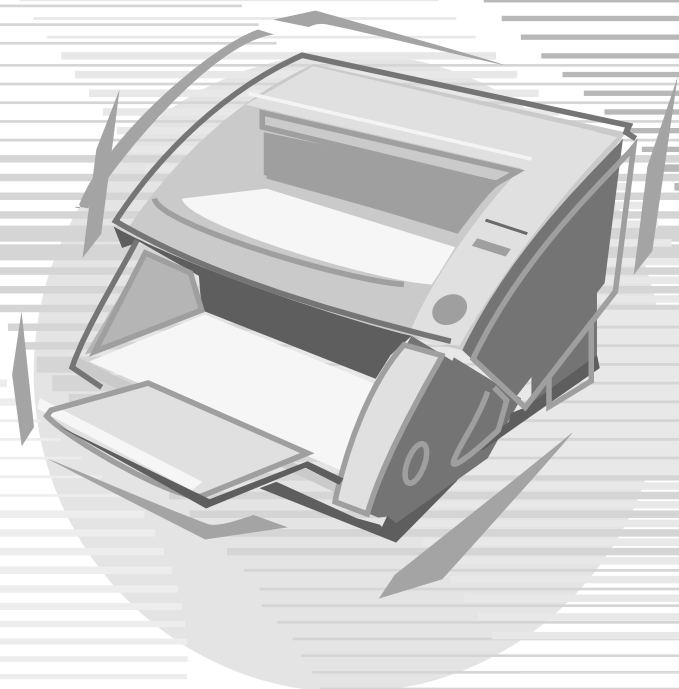


Canon

ドキュメントスキャナ

DR-5020/5080C

取扱説明書



ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も、大切に保管してください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機およびスキャナ等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

複製についてのご注意

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・ 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

商標および登録商標について

- ・ Microsoft Windows®、Windows NT® は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。
- ・ ISIS® は、Pixel Translation A Division of ActionPoint Inc. の登録商標です。
- ・ その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

補修用性能部品について

本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造中止後7年間です。

はじめに

このたびはキャノンドキュメントスキャナ DR-5020/5080Cをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

DR-5020/5080Cの取扱説明書は、「DR-5020/5080C取扱説明書（本書）」の他に「Scanning Utility 5000 使用説明書」、「ISIS/TWAIN Driver 使用説明書」があり3冊で構成されています。

本書では、スキャナの接続方法や原稿のセット方法、紙づまりの処理などといった、スキャナの取扱いや注意について説明しています。本スキャナの機能を十分に理解し、より効果的にご使用いただくために、本書および別冊の「Scanning Utility 5000 使用説明書」または、「ISIS/TWAIN Driver使用説明書」を併せてお読みください。なお、同梱のスキャニングユーティリティは、専用のスキャナドライバを使用するためISISドライバ、TWAINドライバといったスキャナドライバは必要ありません。

また、各説明書は、お読みになった後なくさないように必ず保管してください。

「DR-5020/5080C取扱説明書（本書）」「Scanning Utility 5000使用説明書」、「ISIS/TWAIN Driver 使用説明書」のそれぞれの内容は次のとおりです。

DR-5020/5080C 取扱説明書

スキャナの接続方法や原稿のセット方法、紙づまりの処理など、スキャナの取扱いについて説明しています。スキャナの操作を始める前に必ずお読みください。

Scanning Utility 5000 使用説明書

スキャナに付属のスキャニングユーティリティ「Scanning Utility 5000」の操作方法について説明しています。

ISIS/TWAIN Driver 使用説明書

ISISドライバまたはTWAINドライバに対応したWindowsアプリケーションでスキャナを使う場合の操作方法について説明しています。

本書内の表記

ここでは、本書で使用している記号・表示について説明します。
本書をお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。



取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



取り扱いを誤った場合に、重傷を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



参考になる情報の参照先を記載しています。(P.XX)のかっこ内の数字は参照先のページ数を示しています。



操作の参考になることや補足説明です。

本機

DR-5020およびDR-5080Cを総称して「スキャナ」と表記します。機種ごとの説明が必要なときには、DR-5020またはDR-5080Cの機種名を記載します。

目次

はじめに	1
本書内の表記	2
安全にお使いいただくために	6

第 1 章 DR-5020/5080C について 11

1.1 DR-5020/5080C の特長	12
1.2 梱包品の確認	13
1.3 各部の名称とはたらき	14
前面	14
背面	15
操作パネル	16
着脱式トレイ	18
排紙補助板	18
ファンクションキーラベル	18

第 2 章 使用前の準備 19

2.1 必要なシステム環境	20
2.2 スキャナの接続	21
スキャナの移動	21
コンピュータとの接続	22
SCSI ケーブルの接続	22
SCSI ID とターミネータの設定	23
電源コード、アースコードの接続	24
電源コードの接続	24
アースコードの接続	24
2.3 給紙・排紙の準備	25
補助トレイと排紙補助トレイの準備	25
補助トレイ	25
排紙補助トレイ	26
排紙補助板	27
着脱式トレイ	28
給紙調節	29
原稿ガイド用ラベルの貼付	29
2.4 電源の ON・OFF	30
電源の ON	30
電源の OFF	31

第 3 章 原稿の給紙とスキャン 33

3.1 原稿について	34
3.2 原稿の給紙とスキャン	35
スキャンの手順	36
リモート	37
Semi-Auto	40
Auto	43
Manual	46
原稿枚数のカウント	49
ファンクションシートの利用	51
3.3 スキャン条件の設定	53
基本設定	54
ファンクションキーでの設定	55
手動紙厚調整	56
紙厚固定モード	57
重送検知	57
インプリンタ	57
登録されたスキャナ設定を復元する	58
ユーザモードの設定	59
ユーザモードの設定方法	60

第 4 章 困ったときは 61

4.1 スキャナが認識されないとき	62
4.2 用紙がつまったとき	64
給紙部での紙づまりの場合	64
排紙部での紙づまりの場合	67
4.3 給紙のトラブル	69
4.4 スキャン結果がおかしいとき	71
4.5 エラーコードが表示されるとき	72

第 5 章 日常のお手入れ 75

5.1 日常のお手入れ	76
本体の清掃	76
読み取りガラスとローラーの清掃	77
電源ケーブル	80
インプリンタ	80

付 録	81
DR-5020/5080C 読み取りモード対応表	81
仕 様	83
オプション	84
索 引	85

安全にお使いいただくために

日常の取り扱いについて

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。



アルコール、ベンジン、シンナーなど引火性のある有機溶剤の近くには設置しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

たこ足配線をしないでください。

電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。

付属の電源コード以外は使用しないでください。

使用時は、付属のアースコードを必ず接続してください。

また、アースコードはガス管や水道管には絶対に接続しないでください。火災の原因になります。

スキャナを分解したり、改造しないでください。

スキャナの近くで可燃性のスプレーを使用しないでください。

清掃の際は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スキャナの清掃には、中性洗剤を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。

異常音、発煙、発熱、異臭があったり、機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

スキャナを落としたりぶつかけたりして、強いショックを与えないでください。万が一スキャナが破損した場合は、直ちに電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

スキャナを移動させる場合は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動する場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。

スキャナ背面にある通気孔は、絶対にふさがないでください。スキャナの内部に熱がこもり、火災の原因になります。

スキャナの上には、コップ、花瓶など水の入った容器、クリップ、ステーブルの針、ネックレスなどの金属を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になります。万一これらがスキャナの中に入ってしまった場合は、直ちに電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。

スキャナの上には重いものを載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

いつでも電源コードが抜けるように、コンセントのまわりには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

スキャナの内部に、水や引火性の有機溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー）などをこぼさないでください。火災や感電の原因になります。

長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

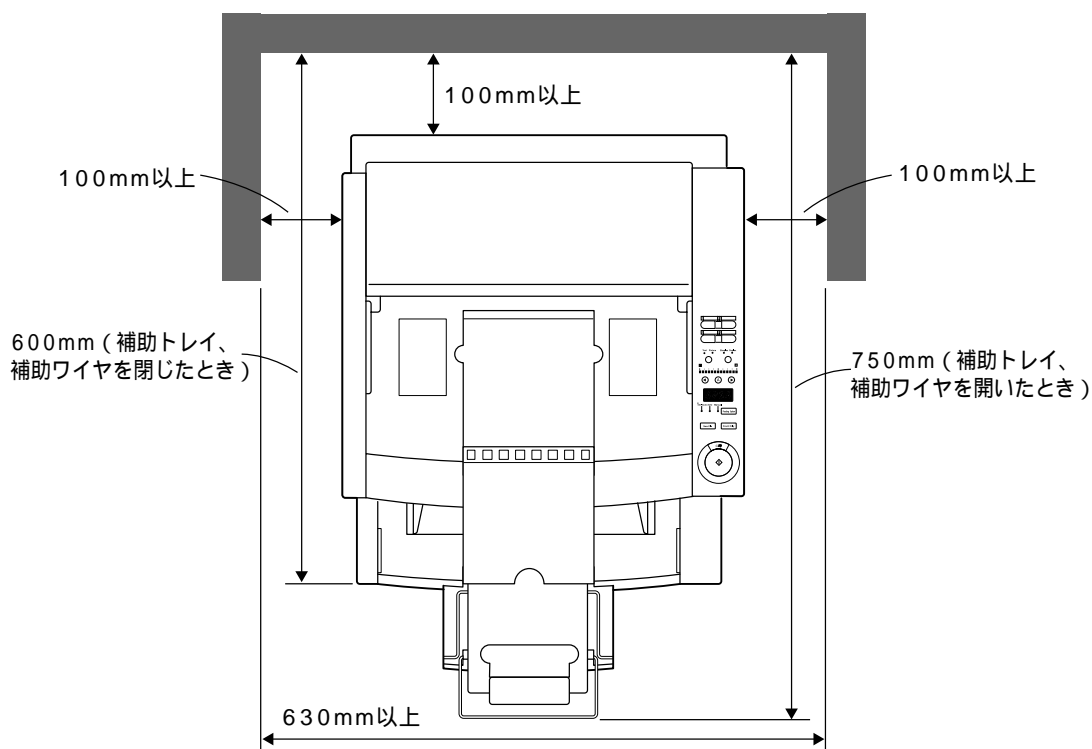
スキャナを操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など操作中のスキャナに引っ掛かりそうなものを身につけないでください。スキャナに巻き込まれてけがの原因になることがあります。とくにネクタイや長い髪などご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて機械を停止してください。

原稿をセットするときや、つまった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

スキャナの動作中に上部ユニットを開かないでください。故障、けがの原因になります。

スキャナのコネクタ部のピンや接点部分に直接手で触れないでください。故障の原因になります。

設置場所について



本機の回りには操作、保守、換気のために上の図のような十分なスペースを確保してください。

次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因になったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

直射日光の当たる場所

やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。

ほこりの多い場所やたばこの煙の発生する場所

ほこりやたばこの煙は本体内部に悪影響を及ぼす原因になります。

水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所

不安定な場所や、振動しやすい場所

湿度が急激に変化する場所

本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境でお使いください。

室温 10 ~ 32.5

湿度 20% ~ 80%RH

スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近く

電源について

電源は必ず 100 V (50/60Hz) のコンセントに接続してください。

他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。

使用時は必ず付属のアースコードを接続してください。アースコードはガス管や水道管には絶対に接続しないでください。

電源について不明な点があるときは、販売店や電力会社におたずねください。

電源コードの上に物を置いたり、踏んだりしないでください。

電源コードを束ねたり、テーブルや椅子の足に巻きつけたりしないでください。

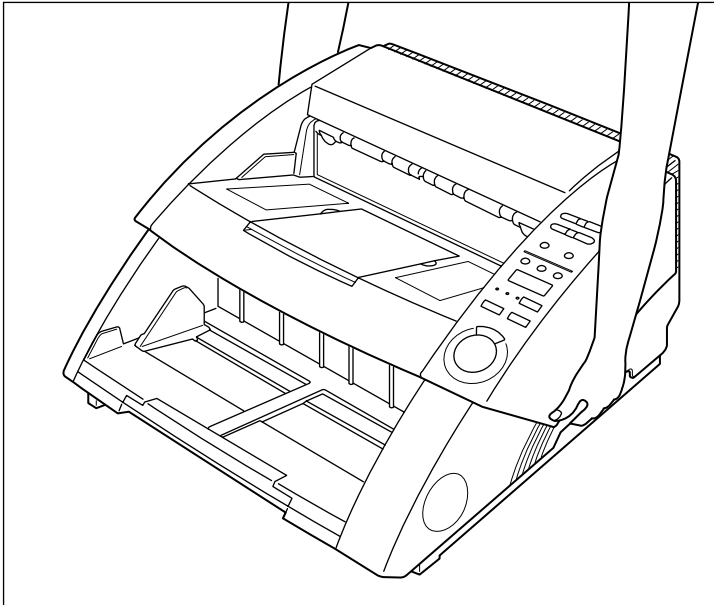
電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、コンセントから抜いてください。

コンセントのまわりには物を置かないでください。

移動するとき

スキャナを移動させるときは、図のように必ず両手で把手部分をしっかりと持ち、十分注意して運搬してください。把手部分を持たずに運搬すると、落としたり、手をはさんだりして大けがをすることがあります。

スキャナの質量は約 20kg です。



警告

スキャナを移動させるときは必ず電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、SCSIケーブルをコネクタから抜いてください。電源が ON のまま、または SCSI ケーブルを接続したまま移動させると、感電の原因になります。

第 1 章

DR-5020/5080C について

ここでは、スキャナの特長と梱包品、および各部の名称とはたらきについて説明します。

1.1 DR-5020/5080C の特長	12
1.2 梱包品の確認	13
1.3 各部の名称とはたらき	14



DR-5020/5080Cの特長

DR-5020/5080Cは、コンパクトながら大量の文書を高速処理する白黒(DR-5020)または簡易カラー(DR-5080C)のドキュメントスキャナです。

DR-5020/5080Cの主な特長は次のとおりです。

高速スキャン

名刺・小切手サイズからA3サイズまでの原稿を最大50枚/分(A4縦置片面および両面、解像度200dpiの場合)の高速でスキャンします。

大容量、高性能給紙機能

- ・大容量の給紙トレイにより、最大500枚(A4)の原稿を一度にセットできます。
- ・紙厚、原稿サイズを自動的に検知して調整しますので、あらかじめ設定する必要はありません。また、サイズの異なる用紙が混在した原稿と一緒にセットできるなど、給紙機能に優れています。

すぐれた操作性

スキャナ本体の操作パネルから、明るさの調整やスキャンのスタート・ストップなどの操作を行うことができますので、大量の原稿をスキャンするときなど、原稿をセットするたびにコンピュータから操作を行う必要はありません。

斜行補正

原稿が斜めに給紙されたことをスキャナが検知し、原稿をまっすぐに補正します。

高耐久性

最高600万枚のスキャンが可能です。

コンパクトサイズ

幅427mm×奥行き485mm×高さ262mmの小型サイズです。

カラー、白黒グレースケール出力対応(DR-5080C)

白黒2値、グレースケール(4,16,256階調)、カラー(3,6,12,24ビット)と多彩な原稿に対応しています。ただし、読み取るモードによっては、メモリの増設が必要になります。また、お使いのアプリケーションおよびスキャナドライバによってはすべてのモードに対応しているとは限りませんので、お使いになるアプリケーションおよびスキャナドライバの説明書をよくお読みください。

ドロップアウトカラー(DR-5080C)

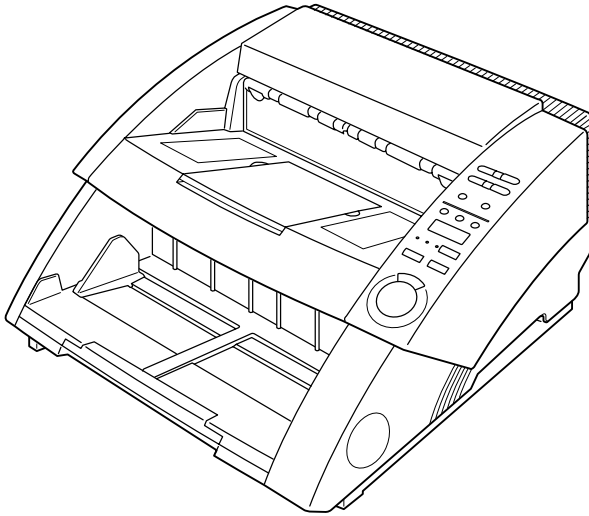
原稿の中の特定の色を読み取らないようにする(ドロップアウトする)機能を装備しています。

多彩なオプション

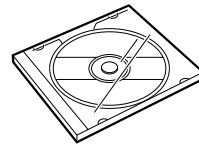
スキャンと同時に原稿に文字を印字できるインプリンタ、原稿中のバーコードを読み取るバーコードデコーダ、原稿に数字や文字を押印するエンダーサなど、多彩なオプション機器を備えています。

1.2 梱包品の確認

本製品には次のものが梱包されています。万一、不足品がある場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



DR-5020/5080C 本体



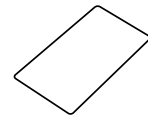
セットアップ CD-ROM
(Scanning Utility 5000 &
ISIS/TWAIN ドライバ)



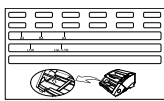
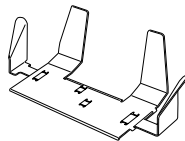
取扱説明書
(DR-5020/5080C 取扱説明書
Scanning Utility 5000 使用説明書
ISIS/TWAIN Driver 使用説明書)



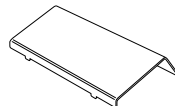
ファンクションシート



保証書

ファンクションキー
ラベル

着脱式トレイ



排紙補助板



電源コード



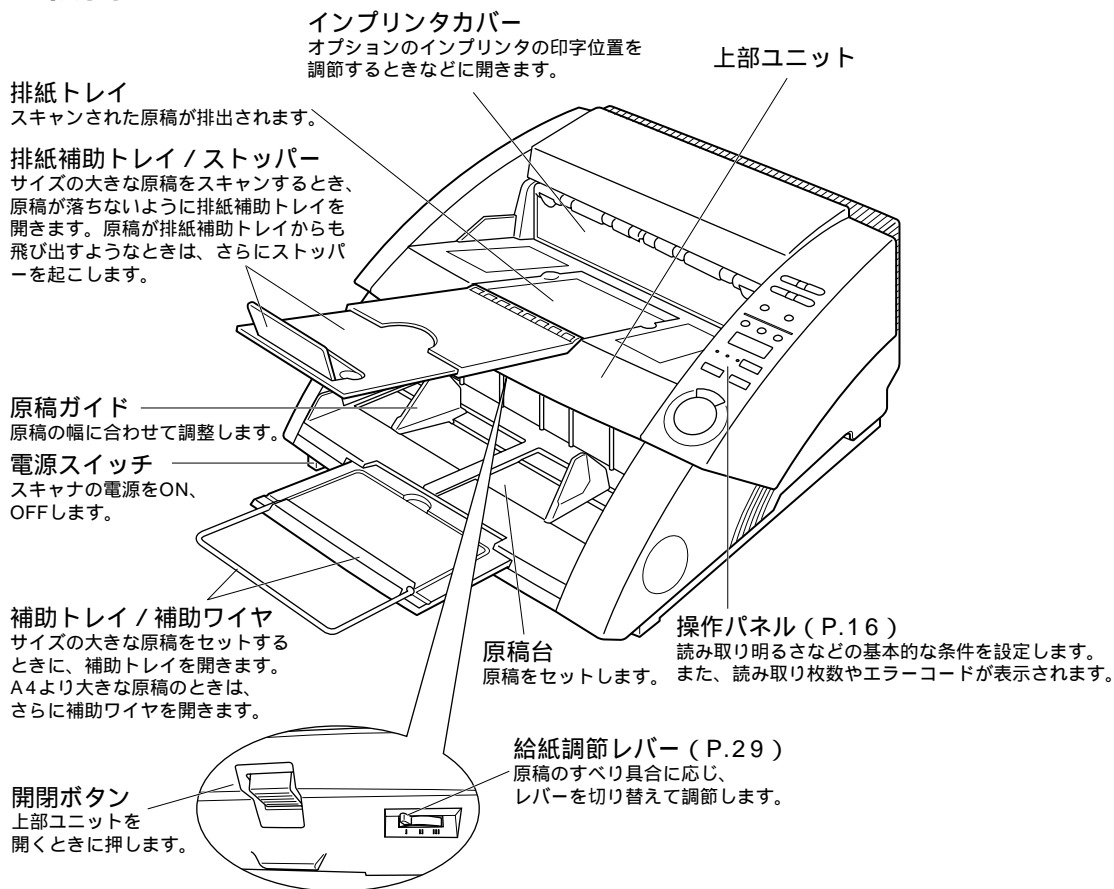
アースコード

1.3

各部の名称とはたらき

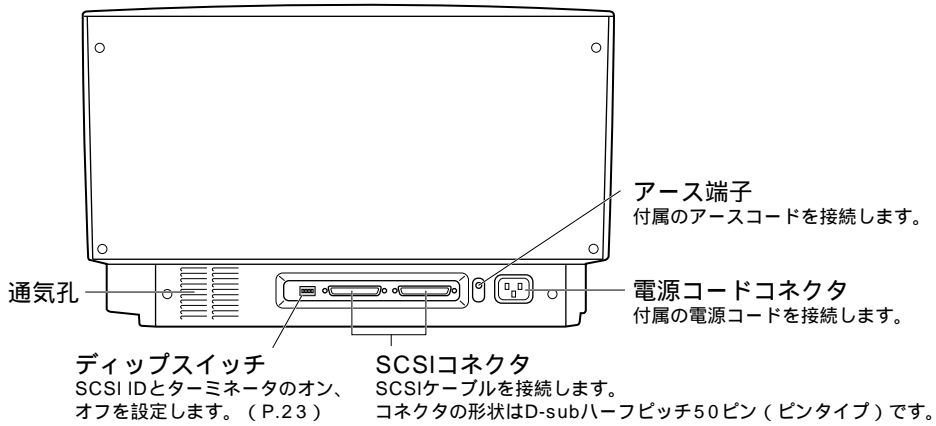
ここでは、各部の名称とはたらきについて説明します。接続する前に確認してください。

前面



オプションのインプリンタが装着されていない場合、インプリンタカバーは開きません。無理に開けようとししないでください。

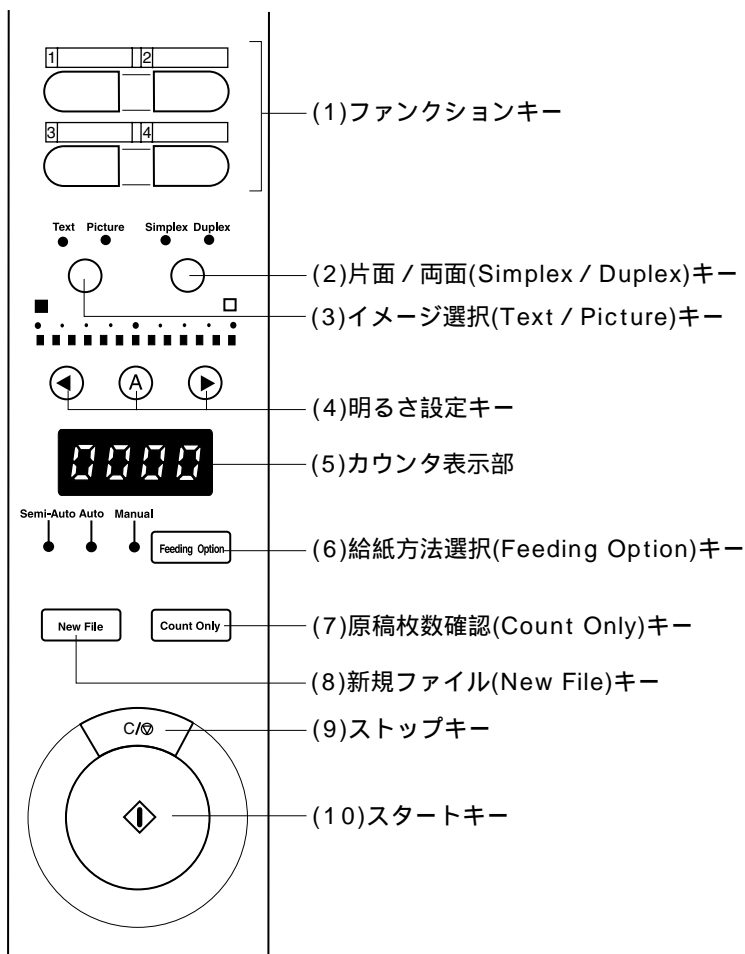
背面



注意

通気孔をふさがないでください。スキャナの内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

操作パネル



(1) ファンクションキー

よく使う機能を登録しておき、ワンタッチで呼び出して使用できます。(P.55)

(2) 片面 / 両面 (Simplex / Duplex) キー

原稿の片面だけをスキャンするか、両面ともスキャンするかを選択します。

Simplex : 原稿の片面だけをスキャンする場合に点灯させます。

Duplex : 原稿の両面をスキャンする場合に点灯させます。

(3) イメージ選択 (Text / Picture) キー

スキャンモード (白黒 / 白黒誤差拡散) を選択します。

Text : 文字原稿を白黒モードでスキャンする場合に点灯させます。

Picture : 画像を含む原稿を白黒誤差拡散モードでスキャンする場合に点灯させます。

アプリケーション側でイメージ選択をグレースケールまたはカラーに設定した場合はどちらも点灯しません。

(4)明るさ設定キー

スキャンする際の明るさを設定します。

明るさを自動調整にする場合は、**Ⓐ** キーを押して点灯させます。(*)

明るさを手動で設定する場合は、**Ⓐ** キーが消えた状態で **Ⓓ** **Ⓔ** キーを押し、キーの上のインジケータの表示を動かして調節します。(右に動かすと明るく、左に動かすと暗くなります。13段階で調節できます。)

Ⓐ キーが点灯した状態で **Ⓓ** **Ⓔ** キーを押してインジケータを調整すると、自動調整のレベルが調整されます。

また、カウントオンリーモードの場合は、**Ⓓ** **Ⓔ** キーでカウント開始値を設定できます。

(*)明るさを自動調整にできるのは、アプリケーション側のスキャン条件設定で明るさを「自動」、かつ読み取りモードを「白黒」にしている場合のみです。

明るさを「自動」にしても、読み取りモードが「白黒」以外であれば、**Ⓐ** キーは点灯せず、明るさの設定はデフォルト値(インジケータの中央の値)になります。自動調整にはなりません。

(5)カウンタ表示部

スキャンした原稿の枚数やエラーコードなどが表示されます。

(6)給紙方法選択(Feeding Option)キー

原稿の給紙方法を選択します。(P.36)

このキーを押すと、キーの左側のランプが、無灯(リモート) [Semi-Auto] [Auto] [Manual] 無灯(リモート)の順に点灯します。

リモート : キーの左側の3つのランプがどれも点灯していない状態です。コンピュータからスキャン開始の指示をすると給紙されます。

Semi-Auto : 原稿をセットし、スタートキーを押すと給紙されます。

Auto : 原稿をセットすると自動的に給紙されます。

Manual : 原稿を手差しで1枚ずつセットします。

(7)原稿枚数確認(Count Only)キー

スキャナをカウントオンリーモード(原稿枚数を数えるモード)にします。(P.49)

このキーを押して点灯させてから、原稿をセットしてスタートキーを押すと、原稿が送られて枚数がカウントされます(スキャンはされません)。カウントされた枚数はカウンタ表示部に表示されます。

(8)新規ファイル(New File)キー

このキーを押して点灯させてから、次の原稿をスキャンすると、スキャン結果の画像が前の原稿とは別のフォルダに保存されます。

なお、アプリケーション側で「オートニューファイル」の設定になっている場合は、ひとまとまりの原稿をスキャンし終わるごとに自動的にこのキーが点灯します。

(9)ストップキー

スキャンを途中で停止させます。

設定したモードを解除したり、カウンタ表示部のエラー表示を解除したりするときにも使用します。

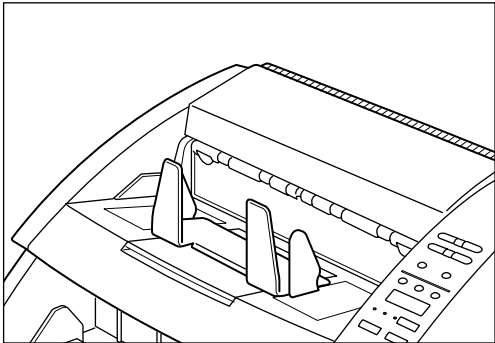
また、2秒以上押しつづけると、カウンタ表示部の枚数表示が「0000」に戻ります。

(10)スタートキー

給紙方法が「Semi-Auto」の場合に、このキーを押してスキャンを開始します。

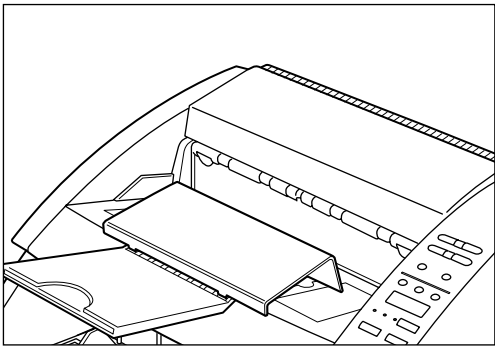
着脱式トレイ

短いサイズ原稿を読み取り後に飛び出すのを防ぐため、排紙トレイにマグネットを取り付けます。



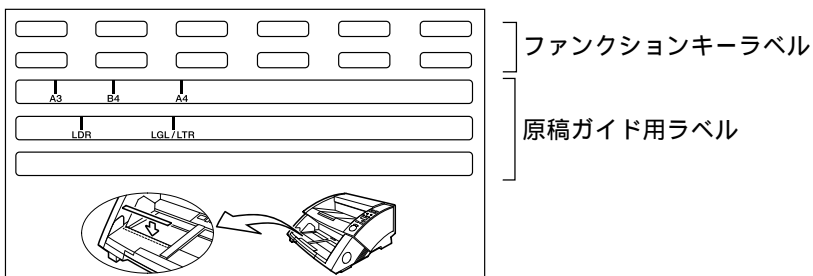
排紙補助板

A3などの大きい原稿で紙厚が薄い場合に、排紙トレイ上で原稿が引っかかるのを防ぎます。



ファンクションキーラベル

ファンクションキーに登録した内容を書いてファンクションキーの上に貼るためのラベルと、原稿ガイドの位置合わせの目安にするための原稿ガイド用ラベルです。



第 2 章

使用前の準備

ここでは、スキャナを接続し、電源スイッチを入れるまでの手順について説明します。

2.1 必要なシステム環境	20
2.2 スキャナの接続	21
2.3 給紙・排紙の準備	25
2.4 電源の ON・OFF	30

2.1 必要なシステム環境

DR-5020/5080C を使うためには、付属品以外に、以下のものが必要になります。

コンピュータ
SCSI カード
SCSI ケーブル
アプリケーション



メモ

- ・ご使用になるアプリケーションによっては、付属のドライバで動作しない場合があります。
- ・コンピュータの機種や使用環境、SCSIカードの種類は、ご使用になるドライバ・アプリケーションに合わせてください。

2.2 スキャナの接続

スキャナをコンピュータと接続します。



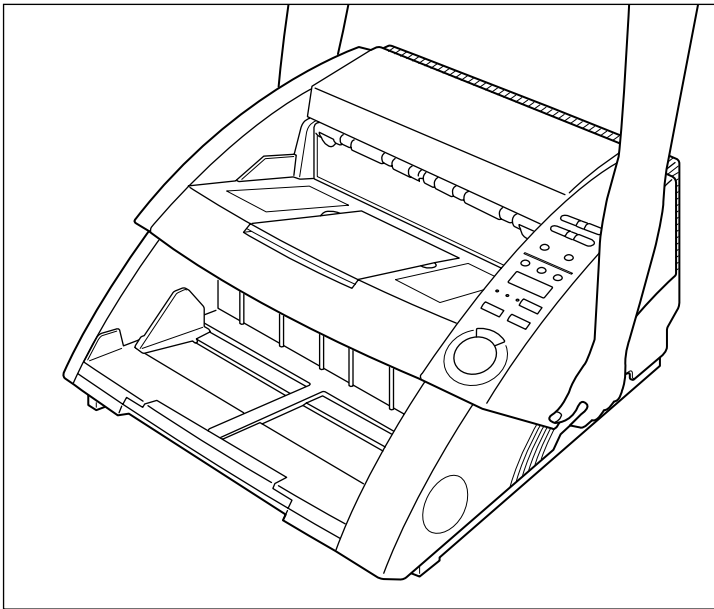
メモ

スキャナの設置については、「安全にお使いいただくために」の「設置場所について」(P.8)を参照してください。

スキャナの移動

スキャナを移動させるときは、図のように必ず両手で把手部分をしっかりと持ち、十分注意して運搬してください。把手部分を持たずに運搬すると、落としたり、手をはさんだりして大けがをすることがあります。

スキャナの質量は約 20kg です。



警告

スキャナを移動させるときは必ず電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、SCSIケーブルをコネクタから抜いてください。電源が ON のまま、または SCSI ケーブルを接続したまま移動させると、感電の原因になります。

コンピュータとの接続

スキャナとコンピュータを接続します。



スキャナとコンピュータを接続するときは、必ず両方の電源をOFFにした状態で行ってください。



スキャナの接続には次のものが別途必要です。

SCSI カード

コンピュータに SCSI カードが装着されているかどうかを確認してください。

SCSI カードは、お使いになるドライバ・アプリケーションに対応したものをご用意ください。

SCSI ケーブル

スキャナの SCSI コネクタはハーフピッチ 50 ピン (ピンタイプ) です。コンピュータの SCSI カードやコンピュータに接続されている SCSI 装置のコネクタの形状を確認し、スキャナと接続可能なコネクタの組み合わせになっている SCSI ケーブルをご用意ください。

コンピュータと接続するときは、次の手順で作業を行います。

1. SCSI ケーブルでスキャナとコンピュータを接続します。(P.22)
2. SCSI ID とターミネータを設定します。(P.23)

SCSI ケーブルの接続

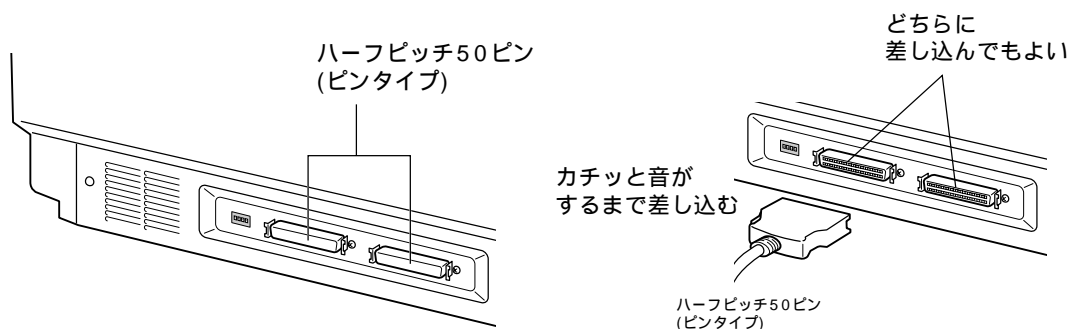


SCSI ケーブルの接続は必ず、スキャナおよびコンピュータの電源をOFFにした状態で行ってください。

SCSI ケーブルでコンピュータとスキャナを接続します。

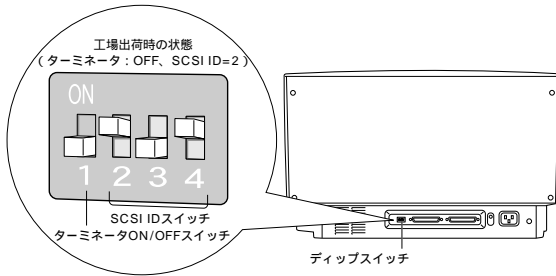
スキャナの背面に SCSI コネクタが 2 つあります。その片方にコンピュータからの SCSI ケーブルを差し込みます。

さらに他の SCSI 機器を接続する場合は、スキャナ背面のもう一方の SCSI コネクタに別の SCSI ケーブルを差し込み、他の SCSI 機器とデージーチェーン接続します。



SCSI ID とターミネータの設定

スキャナの背面にあるディップスイッチで、SCSI ID とターミネータを設定します。ディップスイッチの設定は、スイッチを上にするると[ON]になり、スイッチを下にするると[OFF]になります。



SCSI ID	SW2	SW3	SW4
0	ON	ON	ON
1	ON	ON	OFF
2	ON	OFF	ON
3	ON	OFF	OFF
4	OFF	ON	ON
5	OFF	ON	OFF
6	OFF	OFF	ON
7	OFF	OFF	OFF

SCSI ID は右の表を参考にして設定してください。他の SCSI 機器がコンピュータに接続および内蔵されている場合は、ID が重ならないように注意してください。

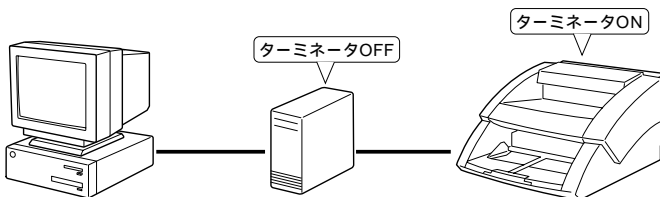


ヒント

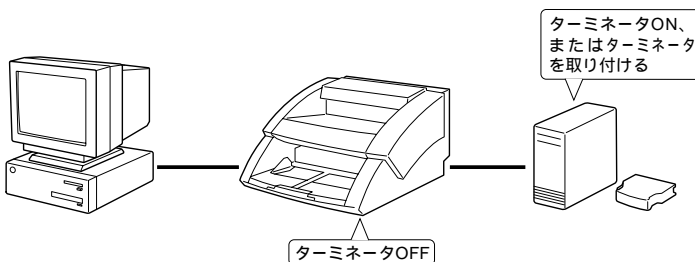
SCSI ID は、出荷時の状態では「2」に設定されています。SCSI ID は、0 ~ 7 が設定できますが、通常 7 は SCSI コントローラに割り当てられていますので使用しないでください。また、SCSI 接続のハードディスクが内蔵されている場合、通常 0 と 1 はハードディスクに割り当てられていますので使用しないでください。

ターミネータは、デジチェーン接続された最後の SCSI 機器のターミネータを ON にします。

< コンピュータとスキャナのみを接続した場合や、デジチェーンの最後にスキャナがある場合 > ターミネータスイッチを ON にします。このとき、途中の SCSI 機器のターミネータは必ず OFF にしてください。



< 他の SCSI 機器がデジチェーンの最後になっている場合 > スキャナのターミネータスイッチを OFF にします。このとき、最後に接続した SCSI 機器のターミネータを ON にします。



電源コード、アースコードの接続

電源コードおよびアースコードを接続します。
電源コードおよびアースコードは、必ずスキャナに付属のものをご使用ください。

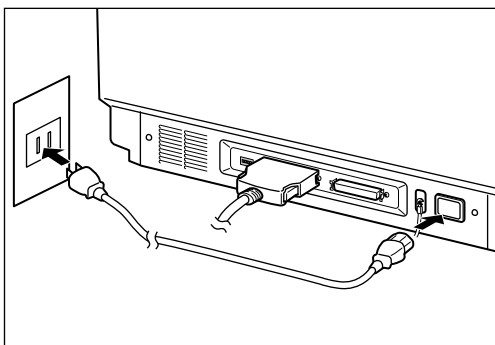
電源コードの接続



電源コード接続のときは次のことをお守りください。火災や感電の原因になります。

- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- ・たこ足配線をしないでください。
- ・電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- ・付属の電源コード以外は使用しないでください。
- ・電源コードの接続は必ず電源スイッチがOFFの状態で行ってください。
- ・電源は必ず100V(50/60Hz)のコンセントに接続してください。
- ・他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。

電源コードを本体背面の電源コネクタに接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

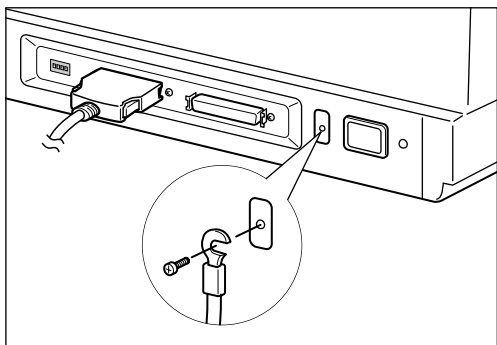


アースコードの接続



アースコードは絶対にガス管や水道管には接続しないでください。スキャナ使用時に引火や爆発および感電の恐れがあります。

アースコードを本体背面のアース端子に接続します。



2.3 給紙・排紙の準備

スキャンする原稿に合わせて、給紙部・排紙部のトレイを引き出したり、着脱式のトレイや補助板を取り付けたりします。

また、原稿ガイドを調節するときの目安になるラベルを原稿台に貼付します。

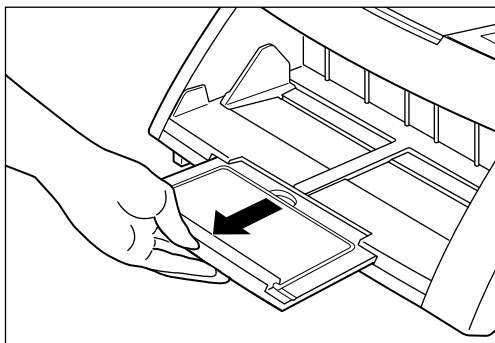
補助トレイと排紙補助トレイの準備

原稿のサイズに合わせて補助トレイおよび排紙補助トレイを使用します。また、原稿に合わせて排紙補助板、着脱式ガイドを取り付けます。

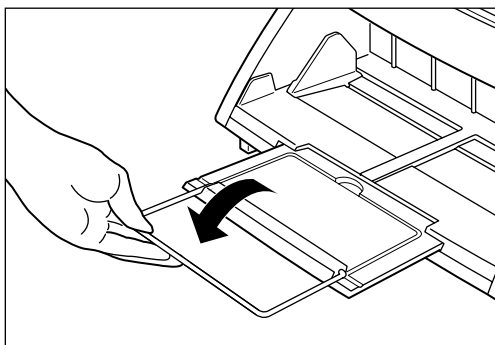
補助トレイ

スキャンする原稿のサイズに合わせて補助トレイを引き出します。

- 1 原稿台中央部から補助トレイを引き出します。



- 2 補助ワイヤを開きます。



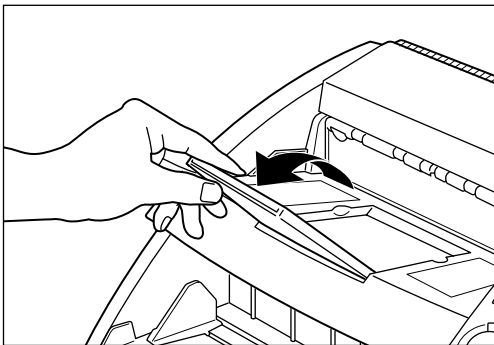
メモ

補助ワイヤは、A4 より大きいサイズの原稿をスキャンする場合に使用します。

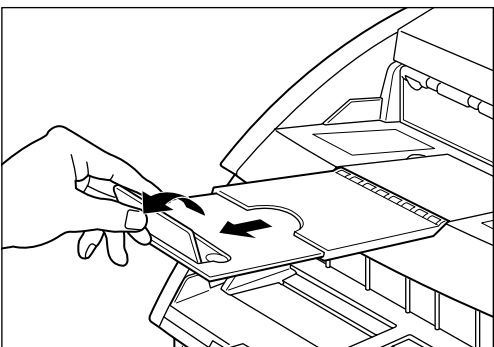
排紙補助トレイ

スキャンする原稿のサイズに合わせて排紙補助トレイを使用します。排紙補助トレイは3段階に開きます。原稿のサイズに合わせて使いわけてください。

- 1 排紙トレイ中央部からガイドを起こします。



- 2 排紙補助トレイ 1 から排紙補助トレイ 2 を引き出し、ストッパーを起こします。



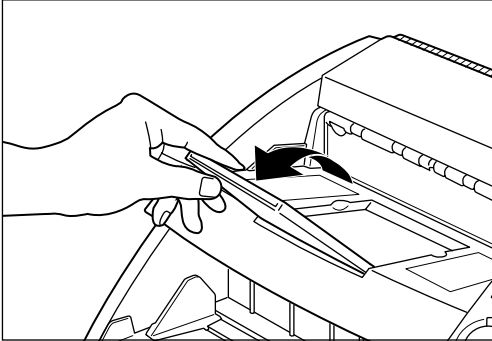
メモ

ストッパーは、排紙される原稿が排紙補助トレイから飛び出すような場合に使用します。

排紙補助板

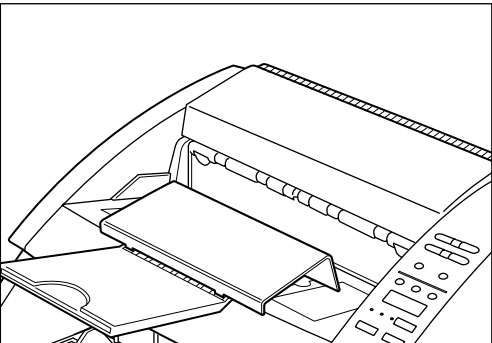
サイズの大きい原稿やすべりの悪い紙質の原稿をスキャンするときに取り付けます。原稿が排紙される際に、原稿が排紙部に引っかかって曲がったり、紙づまりが起きたりするのを防ぎます。

- 1 排紙トレイ中央部からガイドを起こします。



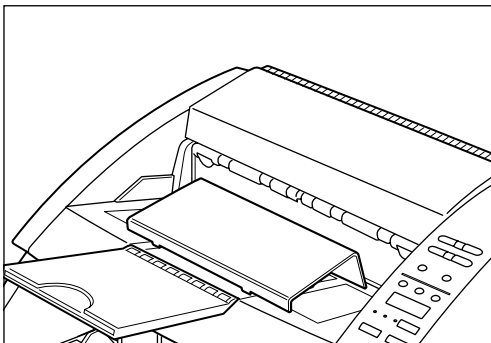
- 2 排紙補助板を取り付けます。

排紙補助板の突起部分を、排紙トレイガイドの穴にはめ込むようにします。



メモ

排紙補助板を取り付けても原稿が排紙部に引っかかる場合は、補助板の位置を奥にずらして、原稿が排紙部に引っかからないように調整してください。



2

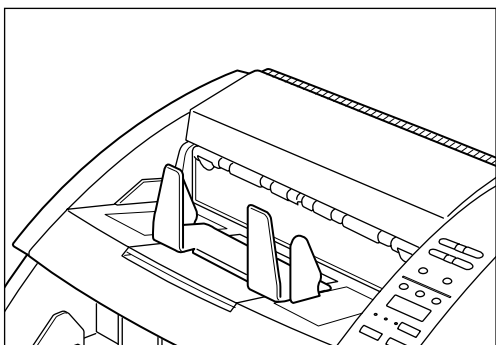
使用
前
の
準
備

着脱式トレイ

着脱式トレイは、サイズの小さい原稿をスキャンするときに取り付けて、原稿が排紙されるときにトレイから飛び出すのを防ぎます。

1 着脱式トレイを排紙トレイの中央にセットします。

着脱式トレイはマグネットで固定されます。排紙口からの距離は、原稿の長さよりも若干長めにします。

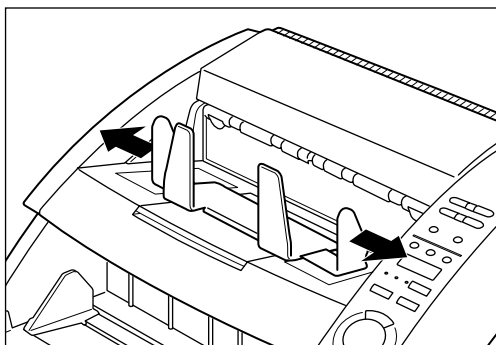


メモ

排紙トレイが開いているときは、排紙トレイを閉じてください。

2 左右のガイドの幅を調節します。

原稿の幅よりも若干広めにします。

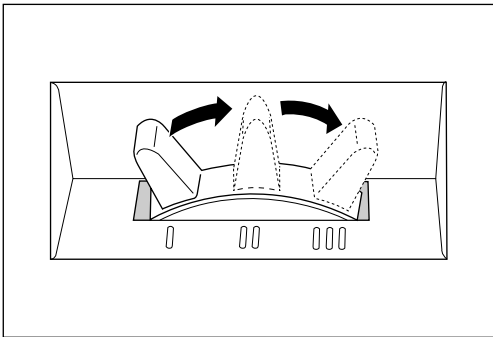


給紙調節

原稿をスキャンしたとき、原稿のすべりが悪いために摩擦で搬送エラーが起こる場合は、給紙調節レバーを切り替えて調節します。

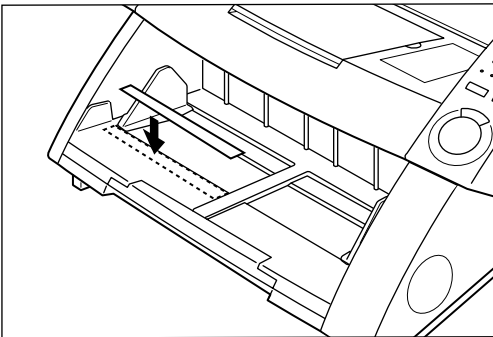
給紙調節レバーは、3段階に切り替えられます。

通常は左(I)の位置にしておきますが、ややすべりの悪い原稿の場合は中央(II)に、さらにすべりの悪い原稿の場合は右(III)にセットします。



原稿ガイド用ラベルの貼付

同梱のファンクションキーラベルに、原稿ガイド用ラベルがいっしょに用意されています。このラベルは、原稿ガイドを調節する際の目安として使用します。図のように原稿台に貼付してください。



2.4 電源のON・OFF

スキャナの電源は次の手順でONまたはOFFにします。

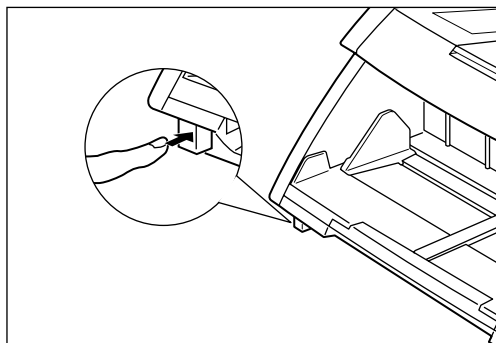
電源のON



ヒント

必ず、接続されている SCSI 機器の電源をすべてONにしてから、コンピュータの電源をONにしてください。

1 スキャナの電源スイッチを押して電源をONにします。



➡ 操作パネルのカウンタ表示部に「0000」が表示されます。



メモ

操作パネルでの設定は、カウンタ表示を除き、スキャナの電源を切る前の状態になります。



警告

異常音、発煙、発熱、異臭があり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い上げの販売店または担当サービスにご連絡ください。そのまま使用を続けると火災の原因になります。

2 コンピュータの電源をONにします。

➡ OSが起動します。



ヒント

・お使いのOSがWindows 95/98/Me、またはWindows 2000 / Windows XPの場合、本スキャナをコンピュータに接続後、コンピュータの電源を初めてONにしたときに、Windowsのプラグアンドプレイ機能により本スキャナのドライバのインストールを促す画面が表示されます。(インストールを促す画面の名称はWindowsのバージョンによって異なります。)

「新しいハードウェア」(Windows 95)の場合は、[一覧から選ぶ]を選択して[OK]をクリックし、次の画面で[その他のデバイス]を選択して[OK]をクリックしてください。

「デバイスドライバウィザード」(Windows 95)の場合は、[次へ]をクリックし、次の画面で[完了]をクリックしてください。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」(Windows 98)の場合は次の手順で進めてください。

1. [次へ]をクリックします。
2. [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。
3. チェックマークをすべて外し、[次へ]をクリックします。
4. [次へ]をクリックします。
5. [完了]をクリックします。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」(Windows Me)の場合は、[適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]を選択してから[次へ]をクリックし、次の画面で[完了]をクリックしてください。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」(Windows 2000)の場合は次の手順で進めてください。

1. [次へ]をクリックして「ハードウェアデバイスドライバのインストール」画面に進みます。
2. [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックして「ドライバファイルの特定」画面に進みます。
3. [検索場所のオプション]のチェックマークをすべて外し、[次へ]をクリックして「ドライバファイルの検索」画面に進みます。
4. [デバイスを無効にする]を選択し、[完了]をクリックします。

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」(Windows XP)の場合は、次の手順で進めてください。

1. [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックしてソフトウェアの検索を始めます。
2. 検索が完了すると、[次のハードウェアのソフトウェアがこのコンピュータ上に見つかりませんでした...]が表れます。[いいえ、今すぐにはインターネットに接続しません。]を選択し[次へ]をクリックします。(PCがインターネットに接続されていると、このメッセージは表れません。)
3. [このハードウェアをインストールできません]が表れた場合は、[このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない。]を選択し、[完了]をクリックします。

・「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」(Windows XP)が完了すると、[ハードウェアのインストール中に問題が発生しました。新しいハードウェアは正しく動作しない可能性があります。]がタスクバーに表示されます。このメッセージはスキャナの問題を表しておりません。単純に[X]をクリックしてメッセージウィンドウを閉じてください。

・スキャナを使用するためには付属のドライバソフトをインストールする必要があります。別冊の「ISIS/TWAIN Driver 使用説明書」または「Scannig Utility 5000 使用説明書」を参照してください。

電源の OFF

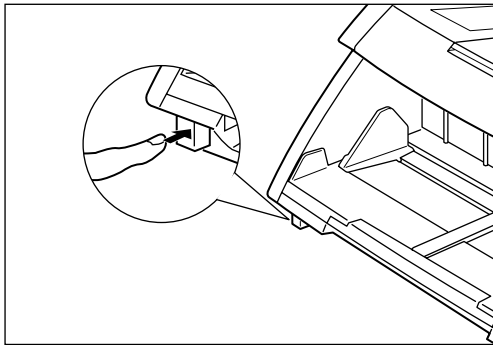


注意

長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 コンピュータ本体の電源を OFF にします。

2 スキャナの電源スイッチを押して電源を OFF にします。



注意

スキャナの電源を再度 ON にする場合は、10 秒以上待ってから行ってください。

第 3 章

原稿の給紙とスキャン

ここでは、本スキャナで扱える原稿についての注意事項と、原稿を給紙してスキャンする操作について説明します。

3.1 原稿について	34
3.2 原稿の給紙とスキャン	35
3.3 スキャン条件の設定	53

3.1 原稿について

本スキャナに給紙できる原稿のサイズは次のとおりです。

- 幅 : 55 ~ 297mm (実際にスキャンできる最大読み取り幅は約 295mm です。)
- 長さ : 70 ~ 432mm
- 厚さ : 0.06 ~ 0.15mm (手差し給紙時 : 0.06 ~ 0.2mm)

スキャンする原稿によっては、次のような注意が必要です。

インクが乾いていない原稿をスキャンすると、内部が汚れたりつまったりして故障の原因になります。必ず乾かしてからスキャンしてください。

鉛筆などで書かれた原稿をスキャンすると、鉛筆の文字が消えたり、ローラーが汚れて他の原稿を汚したりすることがあります。このような原稿の場合は、複写機でコピーしたものをスキャンしてください。万一、このような原稿をスキャンした場合には、スキャンしたあとにローラーの清掃 (P.77) を必ず行ってください。

薄い紙の両面原稿をスキャンすると裏うつりすることがあります。読み取り明るさを調整してください。

すべりが悪い原稿をスキャンすると、摩擦で搬送エラーが起こることがあります。

その場合は、給紙調節レバー (P.29) を切り替えて調節してください。

次のような原稿をスキャンすると、紙づまりや原稿の破損、およびスキャナの故障の原因になりますので注意してください。このような原稿の場合は、複写機でコピーしたものをスキャンしてください。



しわや折り目が入っている。



裏カーボン紙。



カール (巻き付け) がある。



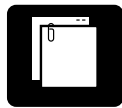
表面がコーティングされている。



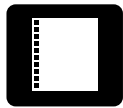
破れている。



半透明の薄紙など極端に薄い。



クリップやステイプルの針が付いている。



綴じ穴がある。



メモ

- ・紙厚、サイズの異なる原稿を混載した場合、搬送に支障をきたすこともありますので、ご注意ください。
- ・カール量の大きい原稿や、しわ・折り目のある原稿などの場合、重送誤検知が発生することがあります。
- ・原稿の端から 5mm 以内に文字・絵がある場合や、地色のついた原稿の場合、斜行検知・自動サイズ検知の誤検知が発生することがあります。

3.2 原稿の給紙とスキャン

原稿をスキャナの本稿台にセットし、スキャンします。また、原稿の枚数をカウントすることもできます。

ここでは、以下の項目について説明します。

- ・スキャンの手順(給紙方法別)
- ・原稿枚数のカウント
- ・ファンクションシートについて



注意

- ・スキャナを操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など操作中のスキャナに引っ掛かりそうなものを身につけないでください。スキャナに巻き込まれてけがの原因になることがあります。とくにネクタイや長い髪などご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて機械を停止してください。
- ・原稿は慎重に取り扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。
- ・原稿をセットする前に、クリップやステーブルの針などが紛れ込んでいないかどうか必ず確認してください。万一紛れ込んでいると、原稿の破損、紙づまり、スキャナの故障の原因になります。

スキャンの手順

原稿をスキャンする手順は、給紙方法の設定によって異なります。
給紙方法には以下の4種類があり、Feeding Option キーで切り替えます。

リモート(出荷時の設定)

原稿の束を1つだけスキャンする場合に使用する給紙方法です。
原稿をセットした状態で、コンピュータからスキャン開始の指示をするとスキャンが始まります。

Semi-Auto

束ごとにサイズの異なる原稿を、原稿ガイドを調節しながら続けてスキャンする場合などに便利な給紙方法です。
原稿をセットした状態で、コンピュータからスキャン開始の指示をし、スキャナ本体のスタートキーを押すとスキャンが始まります。
一束の原稿のスキャンが終わったら、次の原稿の束をセットしてスタートキーを押すと、スキャンが続行できます。

Auto

同じサイズのたくさんの原稿の束を続けてスキャンする場合などに便利な給紙方法です。
コンピュータからスキャン開始の指示をした後、原稿をセットすると自動的にスキャンが始まります。
一束の原稿のスキャンが終わったら、次の原稿の束をセットすると、スキャンが続行できます。

Manual

重送が起こりやすい紙質の原稿など、まとめてセットするとうまく給紙されない原稿の場合に使用する給紙方法です。
コンピュータからスキャン開始の指示をした後、原稿を手差しで1枚ずつセットします。

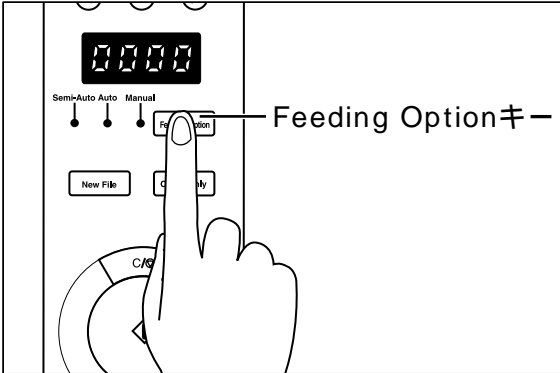
給紙方法ごとのスキャンの手順を以下に説明します。

リモート

リモートは、原稿の束を1つだけスキャンするのに適した給紙方法です。

- 1 操作パネルで、[Semi-Auto][Auto][Manual]の各ランプがすべて消えていることを確認します。

いずれかのランプが点灯している場合は、Feeding Optionキーを押して、ランプをすべて消してください。



メモ

Feeding Optionキーを押すと、無灯(リモート) [Semi-Auto] [Auto] [Manual] 無灯(リモート)の順にランプが点灯します。

- 2 操作パネルで次の設定を選択します。

アプリケーションで設定している場合は不要です。

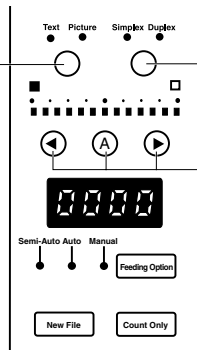
Text/Picture

スキャンモード(白黒/白黒誤差拡散)を選択します。

Text : 文字原稿を白黒モードでスキャンする場合

Picture : 画像を含む原稿を白黒誤差拡散モードでスキャンする場合

アプリケーション側でイメージ選択をグレースケールまたはカラーに設定した場合はどちらも点灯しません。



Simplex/Duplex

原稿の片面だけをスキャンするか、両面ともスキャンするかを選択します。

Simplex : 原稿の片面だけをスキャンする場合

Duplex : 原稿の両面をスキャンする場合

明るさ設定

スキャンする際の明るさを設定します。

明るさを自動調整にする場合は、**A**キーを押して点灯させます。

明るさを手動で設定する場合は、**◀▶**キーを押し、キーの上のインジケータの表示を動かして調節します。

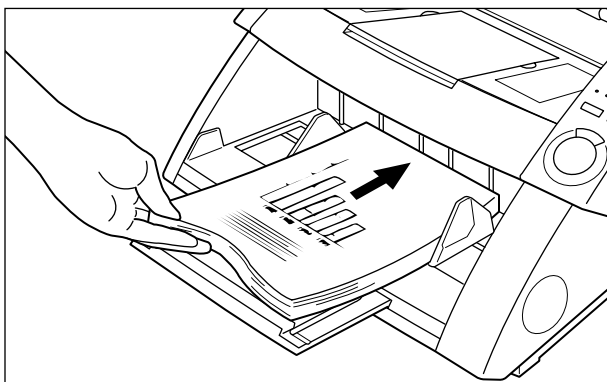


メモ

その他の設定項目については、「3.3 スキャン条件の設定」(P.53)を参照してください。

3 セットする原稿の先端をきちんと揃えます。

4 原稿の最初のページを上にして、原稿の先端を原稿台の奥に突き当てるようにセットします。



注意

原稿台が上がらず、「カチッ」と音がする場合は、原稿の積載量が規定以下(原稿台の ▼ マークの位置以下)でも重量が規定以上になっている可能性があります。セットする原稿の量を減らしてスキャンをやり直してください。



メモ

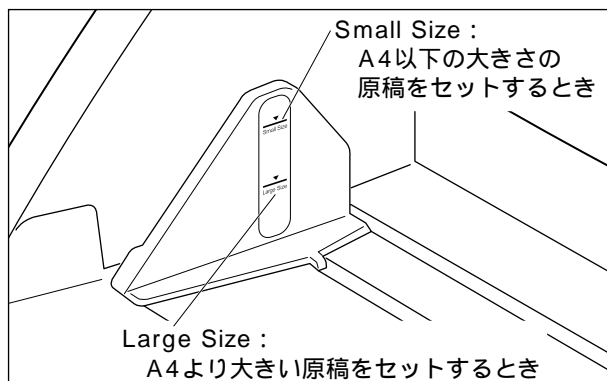
原稿を原稿台にセットするときは、原稿のおもて面を上にしてセットしてください。



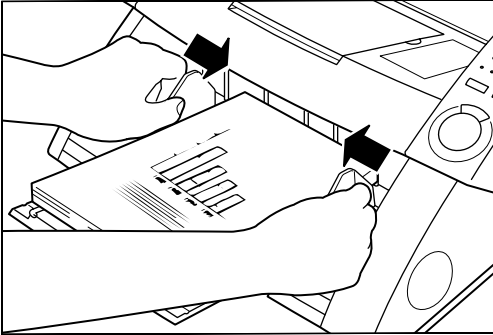
ヒント

原稿台の ▼ マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

原稿をセットできる枚数はA4サイズの一般的なコピー用紙(80g/m²の用紙)で約500枚、A4より大きなサイズでは約200枚です。



5 原稿ガイドをスキャンする原稿の幅に合わせてます。



6 アプリケーションでスキャン開始の指示をします。

7 原稿台が上がり、スキャンが始まります。原稿をすべてスキャンすると原稿台が下がります。



メモ

読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。

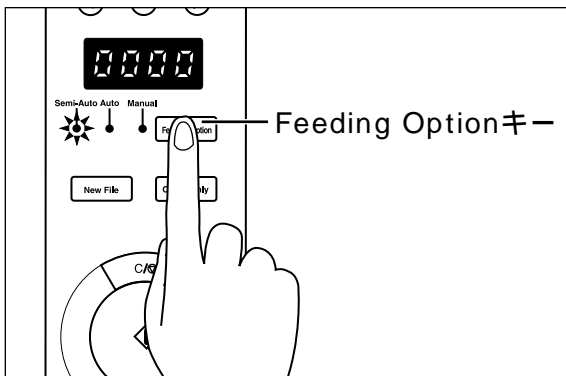
3

原稿をセットする

Semi-Auto

サイズが異なる原稿の束を続けてスキャンする場合は、給紙方法を「Semi-Auto」にします。

1 操作パネルのFeeding Optionキーを押して、[Semi-Auto]を点灯させます。



2 操作パネルで次の設定を選択します。
アプリケーションで設定している場合は不要です。

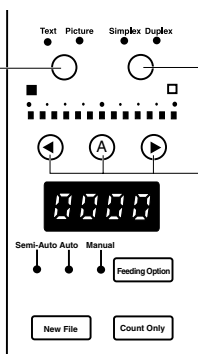
Text/Picture

スキャンモード(白黒/白黒誤差拡散)を選択します。

Text : 文字原稿を白黒モードでスキャンする場合

Picture : 画像を含む原稿を白黒誤差拡散モードでスキャンする場合

アプリケーション側でイメージ選択をグレースケールまたはカラーに設定した場合はどちらも点灯しません。



Simplex/Duplex

原稿の片面だけをスキャンするか、両面ともスキャンするかを選択します。

Simplex : 原稿の片面だけをスキャンする場合

Duplex : 原稿の両面をスキャンする場合

明るさ設定

スキャンする際の明るさを設定します。

明るさを自動調整にする場合は、**A**キーを押して点灯させます。

明るさを手動で設定する場合は、**◀▶**キーを押し、キーの上のインジケータの表示を動かして調節します。

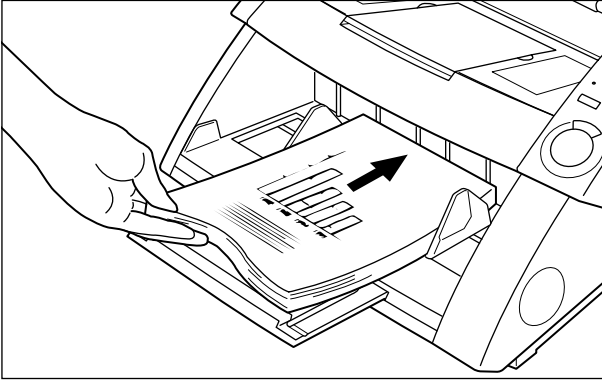


メモ

その他の設定項目については、「3.3 スキャン条件の設定」(P.53)を参照してください。

3 セットする原稿の先端をきちんと揃えます。

4 原稿の最初のページを上にして、原稿の先端を原稿台の奥に突き当てるようにセットします。



注意

原稿台が上がらず、「カチッ」と音がする場合は、原稿の積載量が規定以下(原稿台の ▼ マークの位置以下)でも重量が規定以上になっている可能性があります。セットする原稿の量を減らしてスキャンをやり直してください。



メモ

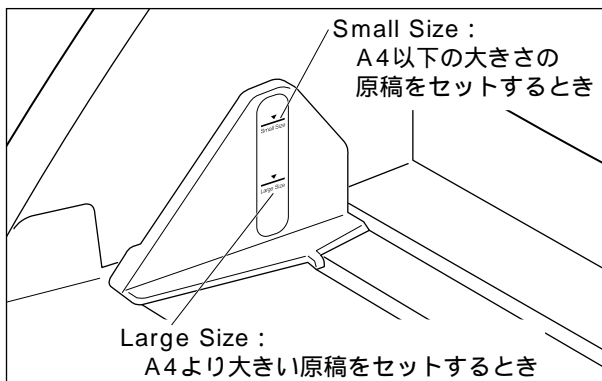
原稿を原稿台にセットするときは、原稿のおもて面を上にしてセットしてください。



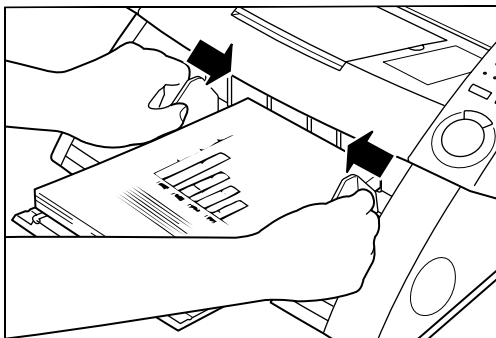
ヒント

原稿台の ▼ マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

原稿をセットできる枚数はA4サイズの一般的なコピー用紙(80g/m²の用紙)で約500枚、A4より大きなサイズでは約200枚です。



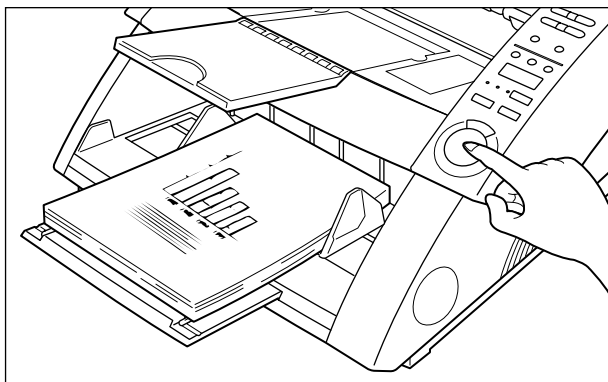
5 原稿ガイドをスキャンする原稿の幅に合わせてます。



6 アプリケーションでスキャン開始の指示をします。

⇒ スタートキーが赤から緑になります。

7 スタートキーを押します。



8 原稿台が上がり、スキャンが始まります。原稿をすべてスキャンすると原稿台が下がります。



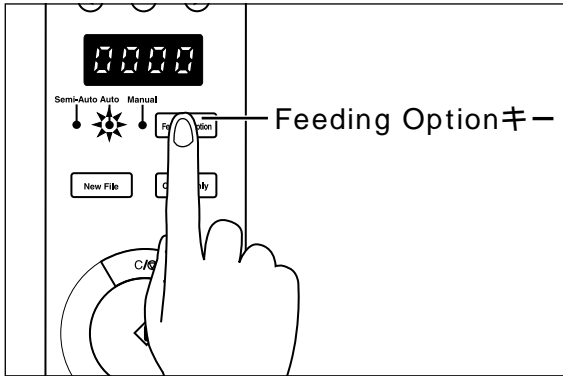
読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。

9 さらに原稿がある場合は、原稿をセットして、スタートキーを押します。スキャンを終了する場合は、ストップキーを押します。

Auto

同じサイズの原稿の束をいくつも続けてスキャンする場合は、給紙方法を「Auto」にします。

- 1 操作パネルの Feeding Option キーを押して、[Auto] を点灯させます。



- 2 操作パネルで次の設定を選択します。
アプリケーションで設定している場合は不要です。

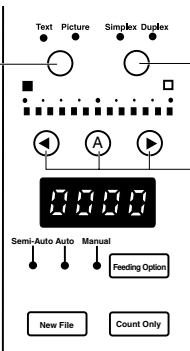
Text/Picture

スキャンモード(白黒/白黒誤差拡散)を選択します。

Text : 文字原稿を白黒モードでスキャンする場合

Picture : 画像を含む原稿を白黒誤差拡散モードでスキャンする場合

アプリケーション側でイメージ選択をグレースケールまたはカラーに設定した場合はどちらも点灯しません。



Simplex/Duplex

原稿の片面だけをスキャンするか、両面ともスキャンするかを選択します。

Simplex : 原稿の片面だけをスキャンする場合

Duplex : 原稿の両面をスキャンする場合

明るさ設定

スキャンする際の明るさを設定します。

明るさを自動調整にする場合は、(A) キーを押して点灯させます。

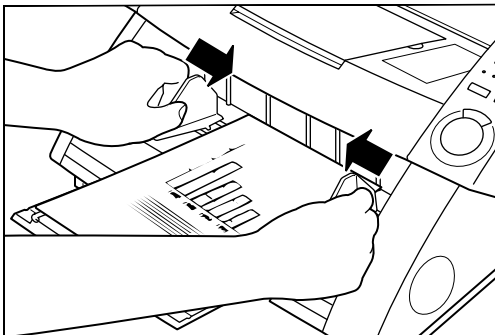
明るさを手動で設定する場合は、(◀▶) キーを押し、キーの上のインジケータの表示を動かして調節します。



メモ

その他の設定項目については、「3.3 スキャン条件の設定」(P.53)を参照してください。

- 3 スキャンする原稿を原稿台に1枚置いて、原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。



- 4 アプリケーションでスキャン開始の指示をします。

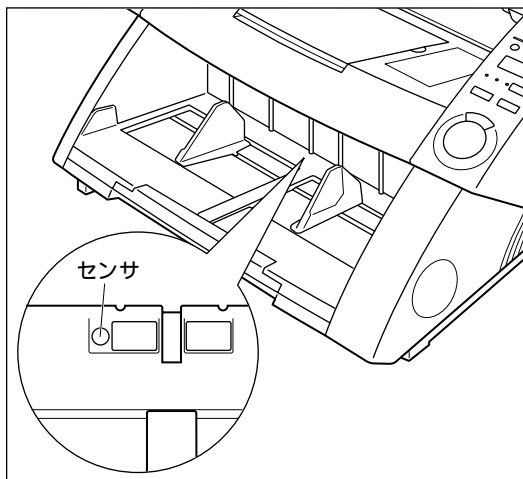
⇒ スタートキーが赤から緑になります。



注意

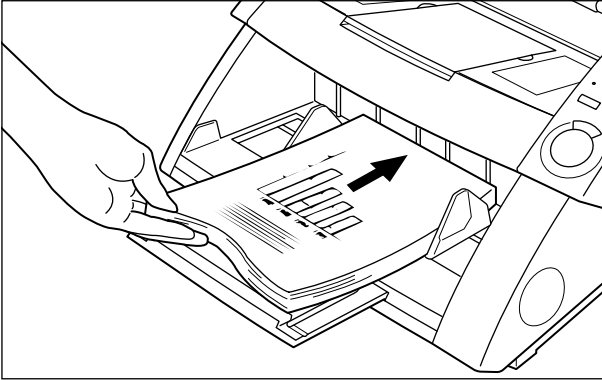
給紙方法が「Auto」の場合は、原稿台の下図の位置にあるセンサが原稿を自動的に検知し、スキャンを開始します。

スキャン開始の指示をした後にセンサ部分をふさぐと、原稿がセットされたものと誤認識して原稿台が自動的に動き出すので、原稿以外のものでもセンサ部分をふさがないようご注意ください。



- 5 セットする原稿の先端をきちんと揃えます。

- 6 原稿の最初のページを上にして、原稿の先端を原稿台の奥に突き当てるようにセットします。



注意

原稿台が上がらず、「カチッ」と音がする場合は、原稿の積載量が規定以下(原稿台の ▼ マークの位置以下)でも重量が規定以上になっている可能性があります。セットする原稿の量を減らしてスキャンをやり直してください。



メモ

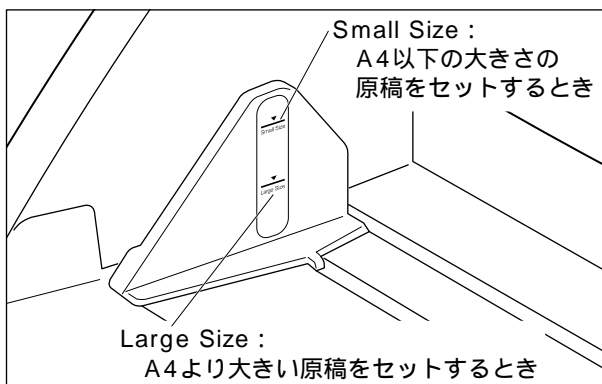
原稿を原稿台にセットするときは、原稿のおもて面を上にしてセットしてください。



ヒント

原稿台の ▼ マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

原稿をセットできる枚数はA4サイズの一般的なコピー用紙(80g/m²の用紙)で約500枚、A4より大きなサイズでは約200枚です。



- 7 自動的に原稿台が上がり、スキャンが始まります。原稿をすべてスキャンすると原稿台が下がります。

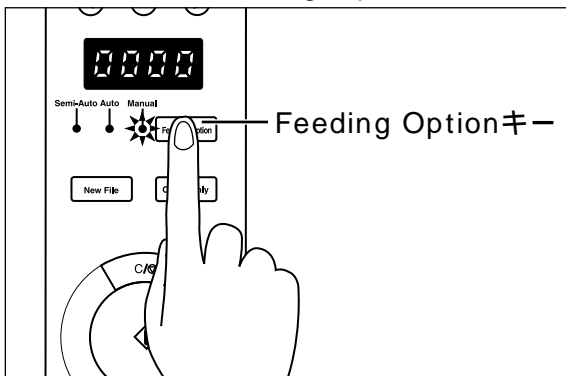
原稿が先にセットされていると、スキャンが始まりません。その場合はスタートキーを押すか、原稿を一度取り除いてから再度セットし直してください。

- 8 さらに原稿がある場合は、続けて原稿をセットすると、自動的にスキャンが開始されます。スキャンを終了する場合は、ストップキーを押します。

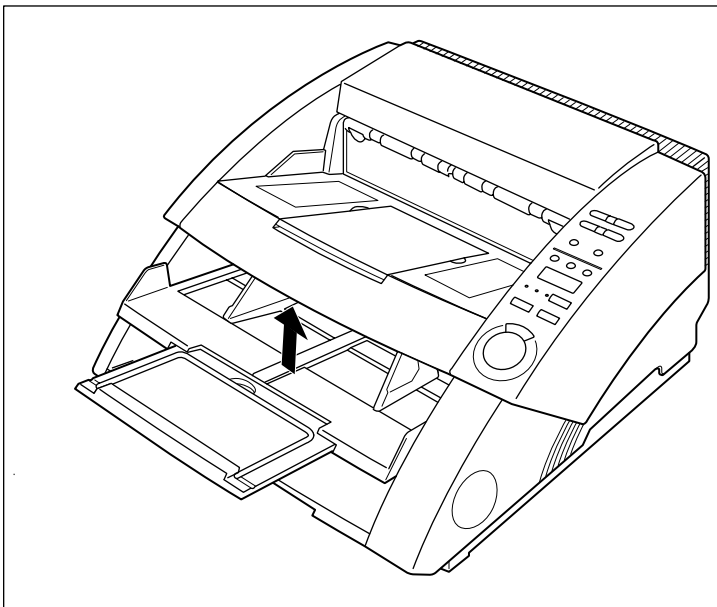
Manual

重送が起りやすい原稿などをスキャンする場合は、給紙方法を「マニュアル」にします。原稿をマニュアル(手差し)で1枚ずつセットしながらスキャンします。

- 1 操作パネルの Feeding Option キーを押して [Manual] を点灯させます。



⇒ 原稿台が上がります。



注意

原稿台に手をはさまないように注意してください。

2 操作パネルで次の設定を選択します。

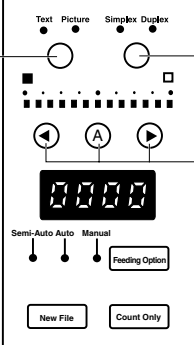
アプリケーションで設定している場合は不要です。

Text/Picture
 スキャンモード(白黒/白黒誤差拡散)を選択します。
 Text : 文字原稿を白黒モードでスキャンする場合
 Picture : 画像を含む原稿を白黒誤差拡散モードでスキャンする場合

アプリケーション側でイメージ選択をグレースケールまたはカラーに設定した場合はどちらも点灯しません。

Simplex/Duplex
 原稿の片面だけをスキャンするか、両面ともスキャンするかを選択します。
 Simplex : 原稿の片面だけをスキャンする場合
 Duplex : 原稿の両面をスキャンする場合

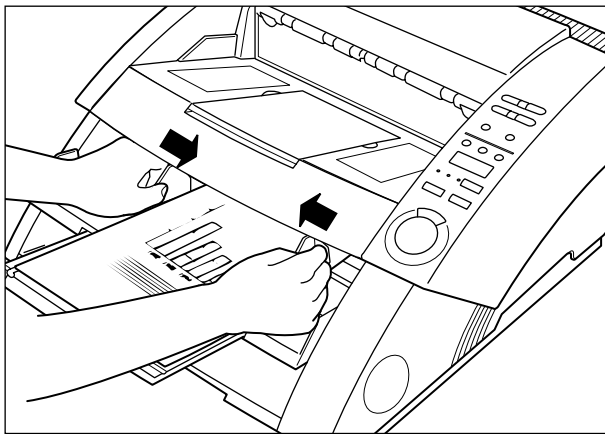
明るさ設定
 スキャンする際の明るさを設定します。
 明るさを自動調整にする場合は、**(A)**キーを押して点灯させます。
 明るさを手動で設定する場合は、**(◀▶)**キーを押し、キーの上のインジケータの表示を動かして調節します。




メモ

その他の設定項目については、「3.3 スキャン条件の設定」(P.53)を参照してください。

3 スキャンする原稿を原稿台に1枚置いて、原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。



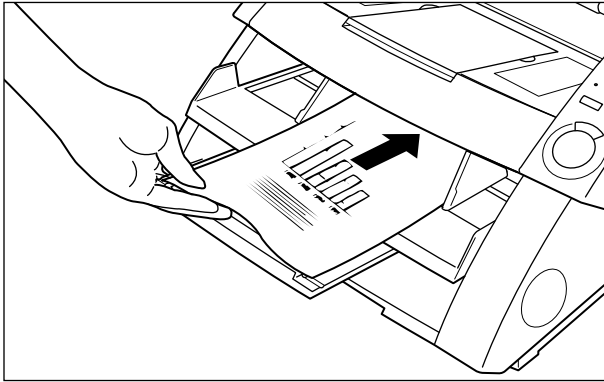
4 アプリケーションでスキャン開始の指示をします。

3

原稿をセットする

5 原稿のおもて面を上にして、原稿の先端を原稿台の奥に軽く突きあてるように1枚挿入します。

⇒ 原稿がスキャンされます。



6 残りの原稿を1枚ずつ挿入します。

7 スキャンを終了する場合は、ストップキーを押します。



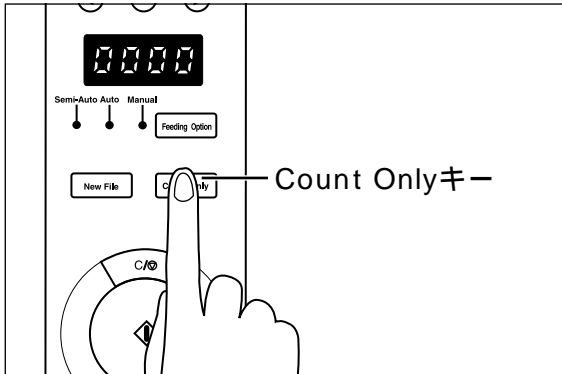
ヒント

このとき原稿台は上がった状態のままです。原稿台を元の位置に戻すには、Feeding Option キーを押して[Manual]以外を選択してください。

原稿枚数のカウント

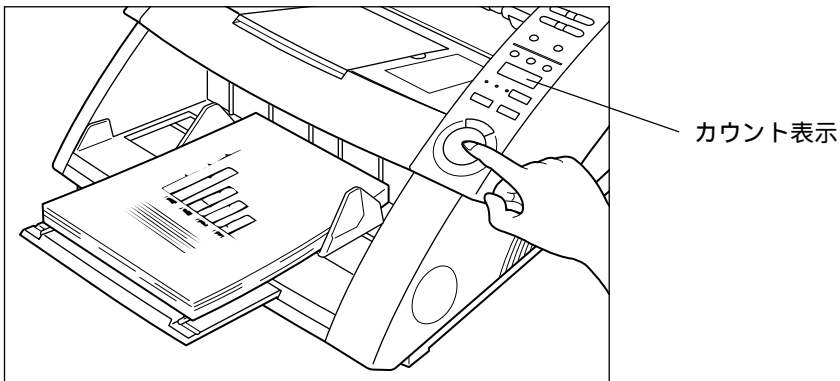
原稿の枚数が判らない場合などに、スキャナを「カウントオンリーモード」にすることで原稿の枚数をスキャナでカウントすることができます。

- 1 操作パネルの Count Only キーを押します。



- ⇒ Count Only キーのランプが点灯し、カウントオンリーモードになります。
また、Feeding Option の[Semi-Auto]が点灯します。

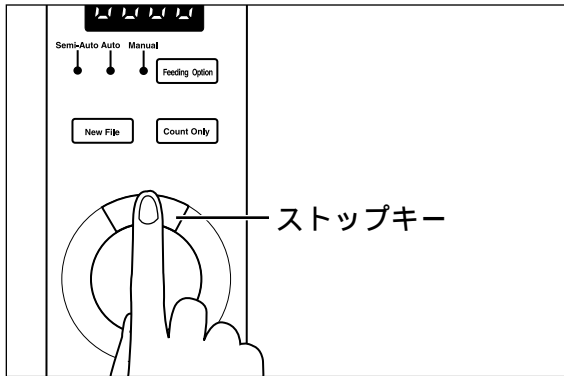
- 2 原稿台に原稿をセットし、スタートキーを押します。



- ⇒ 原稿が送られ、カウントした枚数がカウンタ表示部に表示されます。

3 カウントが終わったら、Count Onlyキーを押してカウントオンリーモードを解除します。

カウンタ表示部の枚数表示をクリアするときは、ストップキーを2秒間以上押ししてください。



ヒント

上記のカウント機能を利用して、「ベリファイスキャン」(原稿の枚数とスキャンした枚数を照合しながら行うスキャン)を行うことができます。ベリファイスキャンについては、別冊の「ISIS/TWAIN Driver 使用説明書」または「Scanning Utility 5000 使用説明書」を参照してください。

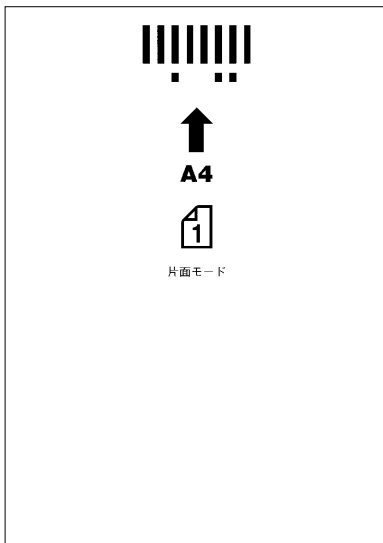
ファンクションシートの利用

スキャナにはファンクションシートが同梱されています。ファンクションシートを原稿の先頭に添付してスキャンするとスキャナはファンクションシートを検知し、そのファンクションシートのモードに自動的に設定を変更します。例えば、種類の違う原稿、片面と両面の原稿などは該当するファンクションシートをそれぞれの種類の原稿の先頭に添付しておけば、スキャンを途中で中断することなく一度に読み取ることができます。

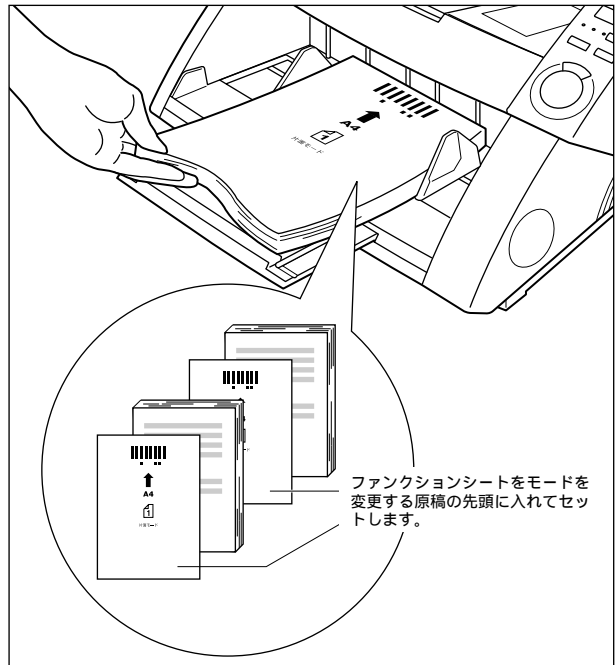


ヒント

- ・この機能は、アプリケーションがファンクションシートを使った読み取りをサポートしている場合のみ有効です。あらかじめアプリケーションでこの機能が使用できるように設定しておいてください。詳しくはアプリケーションの説明書を参照してください。
- ・ファンクションシートについての詳細は、ファンクションシートに同梱されている「ファンクションシート取扱説明書」を参照してください。



ファンクションシート



ファンクションシートには次の5種類があります。

スキャナコントロールシート

原稿をスキャンするモードをコントロールするためのシートで、以下のスキャンモードに対応したシートが用意されています。

両面モード用

原稿の両面をスキャンするときに使用します。スキャンする原稿の前に入れて、原稿とともにスキャナにセットしてください。

片面モード用

原稿の片面をスキャンするときに使用します。スキャンする原稿の前に入れて、原稿とともにスキャナにセットしてください。

写真モード用

写真のような中間調を持った原稿や、文字と写真が混在している原稿を写真モードでスキャンするときに使用します。スキャンする原稿の前に入れて、原稿とともにスキャナにセットしてください。

このシートは、アプリケーション側で「読み取りモード」の設定を「白黒」にしている場合のみ有効です。設定がグレースケール、カラーの場合は、セットしても無視されません。

文字モード用

文字だけの原稿をスキャンするときに使用します。スキャンする文字原稿の前に入れて、原稿とともにスキャナにセットしてください。

このシートは、アプリケーション側で「読み取りモード」の設定を「白黒」にしている場合のみ有効です。設定がグレースケール、カラーの場合は、セットしても無視されません。

ファイル区切りシート

原稿の途中で、スキャン結果が保存されるファイルを自動的に区切りたいときに使用します。区切る文書の先頭に入れて原稿とともにスキャナにセットしてください。



ヒント

- ・ファンクションシートは複写機でコピーしてお使いください。オリジナルのファンクションシートは汚さないように保管してください。
- ・ファンクションシートをコピーするときは、コピーしたものがオリジナルのファンクションシートと同サイズ、同濃度になるようにしてください。コピーの濃度が薄すぎるまたは濃すぎると正しく読み取れないことがあります。
- ・ファンクションシートをコピーするときは、スキャンする原稿と同じ厚さの用紙にコピーしてください。厚さの異なる用紙にコピーして使うと、重送検知(P.57)を設定した場合に重送エラーになることがあります。
- ・A4サイズ以外のファンクションシートをコピーするときは、パターンが用紙の上端から10mmの位置に来るように調整してください。また、パターンが用紙の左右中央部にコピーされるようにしてください。
- ・ファンクションシートは汚さないように注意してください。特にシートの上端から51mmの範囲を汚さないようにしてください。また、折り曲げたり、しわにならないようにしてください。正しく読み取ることができなくなります。
- ・ファンクションシート読み取り時の濃度が薄すぎるまたは濃すぎると正しく読み取れないことがあります。

3.3 スキャン条件の設定

原稿をスキャンする際の読み取り条件などを、操作パネルで設定します。設定には以下の3種類があります。

- ・基本設定
給紙方法、明るさ、片面/両面の区別など、最も基本的なスキャン条件を設定します。
- ・ファンクションキーでの設定
ファンクションキーに割り当ててある設定を呼び出して使用します。
- ・ユーザモードの設定
原稿の検知方法などいくつかの項目について、スキャナの動作モード(ユーザモード)を設定します。

それぞれの設定方法を以下に説明します。

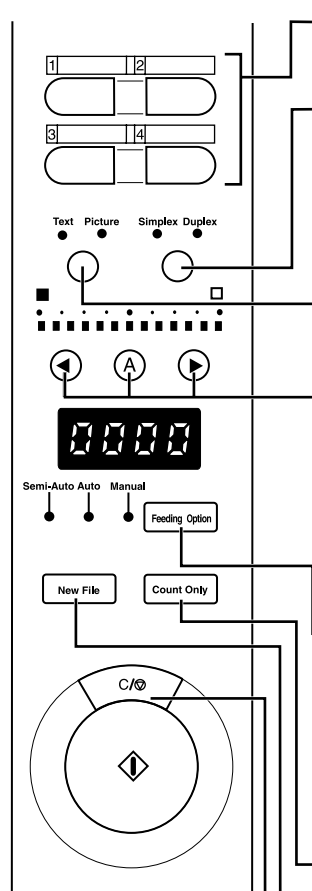


メモ

操作パネルで設定できる条件は一部だけです。詳細なスキャン条件は、アプリケーション側で設定します。別冊の「ISIS/TWAIN Driver 使用説明書」または「Scanning Utility 5000 使用説明書」を参照してください。

基本設定

基本的なスキャン条件を操作パネルで設定します。
操作パネルの各キーを使って、以下の条件が設定できます。



The diagram shows the control panel of a scanner with various buttons and a display. Callouts connect these elements to detailed descriptions of their functions:

- ファンクションキー (P.55)**: A set of four buttons labeled 1, 2, 3, and 4.
- 片面 / 両面(Simplex/Duplex)キー**: Buttons labeled Text, Picture, Simplex, and Duplex.
- イメージ選択(Text/Picture)キー**: Buttons labeled Text and Picture.
- 明るさ設定キー**: A digital display showing '0000' and buttons labeled A and B.
- 給紙方法選択(Feeding Option)キー**: Buttons labeled Semi-Auto, Auto, and Manual.
- 新規ファイル(New File)キー**: A button labeled New File.
- 原稿枚数確認(Count Only)キー**: A button labeled Count Only.
- ストップキー**: A large circular button with a diamond symbol in the center.

片面 / 両面(Simplex/Duplex)キー
原稿の片面だけをスキャンするか、両面ともスキャンするかを選択します。
Simplex : 原稿の片面だけをスキャンする場合に点灯させます。
Duplex : 原稿の両面をスキャンする場合に点灯させます。

イメージ選択(Text/Picture)キー
スキャンモード(白黒 / 白黒誤差拡散)を選択します。
Text : 文字原稿を白黒モードでスキャンする場合に点灯させます。
Picture : 画像を含む原稿を白黒誤差拡散モードでスキャンする場合に点灯させます。
アプリケーション側でグレースケールまたはカラーを選択した場合はどちらも点灯しません。

明るさ設定キー
スキャンする際の明るさを設定します。
明るさを自動調整にする場合は、A キーを押して点灯させます。
明るさを手動で設定する場合は、A/B キーを押し、キーの上のインジケータの表示を動かして調節します。(右に動かすと明るく、左に動かすと暗くなります。13段階で調節できます。)
また、カウントオンリーモードの場合は、A/B キーでカウント開始値を設定できます。

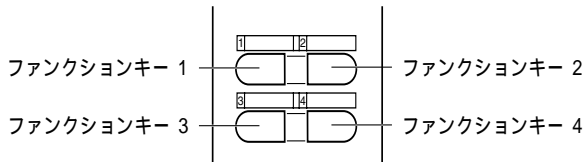
給紙方法選択(Feeding Option)キー
原稿の給紙方法を選択します。(P.36)
リモート : キーの左側の3つのランプがどれも点灯していない状態です。コンピュータからスキャン開始の指示をすると給紙されます。
Semi-Auto : 原稿をセットし、スタートキーを押すと給紙されます。
Auto : 原稿をセットすると自動的に給紙されます。
Manual : 原稿を手差しで1枚ずつセットします。

原稿枚数確認(Count Only)キー
スキャナをカウントオンリーモード(原稿枚数を数えるモード)にします。(P.49)
このキーを押して点灯させてから、原稿をセットしてスタートキーを押すと、原稿が送られて枚数がカウントされます(スキャンはされません)。カウントされた枚数はカウンタ表示部に表示されます。

新規ファイル(New File)キー
スキャン結果の画像の保存先を区切ります。
このキーを押して点灯させてから、次の原稿をスキャンすると、スキャン結果の画像が前の原稿とは別のフォルダに保存されます。
なお、アプリケーション側で「オートニューファイル」の設定になっている場合は、ひとまとまりの原稿をスキャンし終えるごとに自動的にこのキーが点灯します。

ストップキー
スキャンを途中で停止させます。
設定したモードを解除したり、カウンタ表示部のエラー表示を解除したりするときにも使用します。
また、2秒以上押しつづけると、カウンタ表示部の枚数表示が「0000」に戻ります。

ファンクションキーでの設定



操作パネルの上部に、4つのファンクションキーがあり、以下の項目をファンクションキーに登録しておくことで、操作パネル上から利用することができます。

ファンクションキーに登録できる設定は次のとおりです。

- ・ 手動紙厚調整 (P.56)
紙厚を手動で調整します。
- ・ 紙厚固定モード (P.57)
紙厚を固定にします。
- ・ 重送検知 (P.57)
スキャン中に重送(原稿が重なって送られること)が起きたことを自動的に検知します。
- ・ インプリンタ (P.57)
オプションでインプリンタが装着されている場合に、インプリンタを使用するかどうかを選択します。
- ・ 登録されたスキャナ設定を復元する (P.58)
コンピュータ側で設定したスキャナ設定をファンクションキーに登録し、ファンクションキーを押すだけで登録した設定をスキャナに復元することができます。

なお、ファンクションキーへの登録は、アプリケーション側から行います。ファンクションキーへ登録する方法については、「ISIS/TWAIN Driver使用説明書」または「Scanning Utility 5000 使用説明書」をご覧ください。



- ・ 出荷時の状態は次のとおりです。
ファンクションキー 1：手動紙厚調整
ファンクションキー 2：インプリンタ（オプション装着時）
ファンクションキー 3：紙厚固定モード
ファンクションキー 4：重送検知
- ・ ファンクションキーに登録した内容はスキャナに保存されます。そのため、スキャナを修理に出した場合、ファンクションキーの設定は出荷時の状態に戻りますので、ご注意ください。

手動紙厚調整

本スキャナは、初期設定では紙厚を自動的に検知してスキャンするようになっていますが、極端に厚い紙や薄い紙では、自動調整の機能が働きにくくなることがあります。その場合に、紙の厚さの程度をユーザーが手動で調整し、原稿がスムーズに給紙されるようにします。厚さを調整する手順は次のとおりです。

1 「手動紙厚調整」を登録したファンクションキー(初期設定ではファンクションキー 1)を押します。

⇒ ファンクションキーが点滅し、カウンタ表示部に「Adj」が点滅します。

また、Feeding Optionの[Semi-Auto]が点灯し、スタートキーの中央部が緑色に点滅します。



メモ

手動紙厚調整を中止する場合は、点滅しているキーまたはストップキーを押します。

2 スキャンする原稿を1枚原稿台にセットし、スタートキーを押します。

⇒ 原稿がスキャンされ、インジケータに紙厚が表示されます。



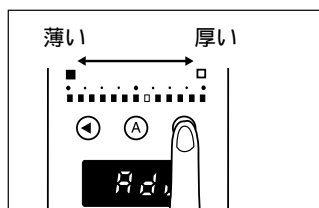
メモ

インジケータに表示される紙厚は正確な紙厚ではありません。調整の目安としてお使いください。

3 ◀ ▶ キーを押して紙厚を調整します。

◀ ▶ キーを押すとインジケータの表示が左右に動きます。

紙厚を「厚い」方に設定する場合はインジケータを右に、「薄い」方に設定する場合は左に動かしてください。13段階で調整できます。



4 点滅しているファンクションキーをもう一度押します。

⇒ 紙厚が設定され、カウンタ表示部がカウンタ表示に戻ります。



メモ

- ・上記で設定した値を有効にするには、「紙厚固定モード」(P.57)にする必要があります。
- ・アプリケーション側でも手動紙厚調整が可能です。ファンクションキーとアプリケーションの両方で手動紙厚調整をした場合は、後から設定した内容が有効になります。

紙厚固定モード

本スキャナは、初期設定では紙厚を自動的に検知してスキャンするようになっていますが、紙厚の設定を固定できる「紙厚固定モード」もあります。「紙厚固定モード」にすると、紙厚自動検知の機能は働かず、「手動紙厚調整」(P.56)で設定した値に紙厚が固定されます。

紙厚を自動検知にするか、紙厚固定モードにするかを、ファンクションキーで選択できます。紙厚固定モードにする場合は、「紙厚固定モード」を登録したキー(初期設定ではファンクションキー 3)を押し、キーのランプが点灯した状態にして原稿をスキャンします。自動検知に戻す場合は、登録したキーを押してランプを消します。

重送検知

本スキャナは、連続してスキャンするときに1枚目の原稿の厚さ・長さを基準として記憶し、給紙の際に原稿が重なって送られてしまうこと(重送)を自動的に検知してエラーを表示する「重送検知」の機能を備えています。

重送検知の機能の ON/OFF を、ファンクションキーで選択できます。重送検知をする場合は、「重送検知」を登録したキー(初期設定ではファンクションキー 4)を押し、キーのランプが点灯した状態にして原稿をスキャンします。重送検知をしない場合は、登録したキーを押してランプを消します。

なお、紙厚・紙サイズの異なる原稿が混在する束を給紙する場合は、重送検知エラーになりますので、「重送検知」は必ず OFF にしてください。



メモ

- ・ 1枚目の原稿が検知の基準になるため、1枚目の原稿が重送された場合には検知できないことがあります。原稿が正常に読み取られたかどうか、スキャン結果の画像を確認してください。
- ・ 幅 130mm 以下の原稿の場合、重送検知はできません。
- ・ 基準の長さより 5cm 以上長い原稿、または基準の厚さの 1.5 倍以上厚い原稿を検知すると、自動的に重送と判断され、エラーメッセージが表示されます。
- ・ ファンクションキーで重送検知を ON にすると、長さ・厚さの両方で重送検知されます。ファンクションキーからは、長さ・厚さのどちらか一方だけで重送を検知するようには設定できません。
なお、ドライバやアプリケーションからは、長さ・厚さのどちらか一方だけで重送を検知するように設定できますが、その場合はファンクションキーは点灯しません。両方で検知するように設定すると、ファンクションキーが点灯します。
- ・ 重送検知の設定は、スキャナの電源を OFF にするとリセットされます。

インプリンタ

インプリンタ(オプション)が装着されている場合に、インプリンタを使用するかどうかをファンクションキーで選択できます。

インプリンタを使用する場合は、「インプリンタ」を登録したキー(初期設定ではファンクションキー 2)を押し、キーのランプが点灯した状態にして原稿をスキャンします。

インプリンタを使用しない場合は、キーのランプが消えた状態で原稿をスキャンします。

登録されたスキャナ設定を復元する

コンピュータ側で設定したスキャナ設定をファンクションキーに登録します。スキャナ設定の登録は、4つのファンクションキーそれぞれに、スキャンする原稿にあわせた設定を登録することができます。ファンクションキーにスキャナ設定を登録するとファンクションキーが点灯します。ただし、イメージ選択、スキャン解像度、原稿サイズの設定は登録されませんのでスキャン時に設定が必要です。

登録したスキャナ設定を使用する場合には、アプリケーション側でスキャナの設定のダイアログを開く前に使用するスキャナ設定を登録したファンクションキーを押します。登録したファンクションキーが点灯し、スキャナ設定が復元されます。復元したスキャナの設定を変更するとファンクションキーの点灯が消灯します。また、変更した設定を元に戻すとファンクションキーが再度点灯します。

ユーザモードの設定

本スキャナでは、以下の各項目について、それぞれの動作モード(ユーザモード)を使用するかを選択できます。

(U5～U9の設定は、対応するオプション機器[インプリンタ、バーコードデコーダ]を装着している場合に表示されます。)

省電力モードの設定

U0-0: 省電力モードへ移行しない

U0-1: 15分間操作しない時に省電力モードに移行する(出荷時の設定)

操作パネルブザーの設定

U1-0: 操作パネルのキー操作時にブザーを鳴らさない

U1-1: 操作パネルのキー操作時にブザーを鳴らす(出荷時の設定)

原稿検知の設定

U2-0: 原稿の幅を原稿自体の幅で検知する

U2-1: 原稿の幅を原稿ガイドの幅で検知する(出荷時の設定)

U3-0: 原稿の斜行を検知しない(出荷時の設定)

U3-1: 原稿の斜行を検知してスキャン動作を停止する

U3-2: 原稿の斜行を検知してスキャン動作を停止する(マニュアルモードを除く)

SCSI同期転送の設定

U4-0: SCSI同期転送をしない

U4-1: SCSI同期転送をする(出荷時の設定)

バーコードの設定

U5-0: バーコード読み取り時にブザーを鳴らさない

U5-1: バーコード読み取り時にブザーを鳴らす(出荷時の設定)

U6-0: CodabarバーコードのSTART/STOPコードを小文字出力する(出荷時の設定)

U6-1: CodabarバーコードのSTART/STOPコードを大文字出力する

U7-0: バーコード照合なし

U7-1: バーコード照合回数 1回(出荷時の設定)

U7-2: バーコード照合回数 2回

U7-3: バーコード照合回数 3回

カウントオンリーモードの設定

U8-0: カウントオンリーモード時にインプリンタ/エンドーサを使用しない(出荷時の設定)

U8-1: カウントオンリーモード時にインプリンタ/エンドーサを使用する

エンドーサ押印モードの設定

U9-0: エンドーサを小切手モードで使用する(出荷時の設定)

U9-1: エンドーサをA4モードで使用する

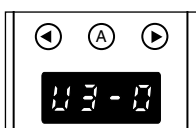
ユーザモードの設定方法

- 1 ① キーを5秒間以上押し続けます。

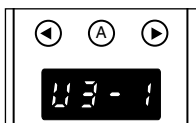


⇒ ①キーが点滅し、カウンタ表示部にユーザモードが表示されます。

- 2 ◀ ▶ キーを押し、ユーザモードアドレス(U1 ~ U9 のいずれか)を選択します。



- 3 ① キーを押し、使用するモード(末尾の数字)を選択します。



- 4 ストップキーを押します。

⇒ 選択したモードが設定され、カウンタ表示部が枚数表示に戻ります。

第 4 章

困ったときは

ここでは、トラブルが発生したときの原因と対処方法について説明します。

4.1 スキャナが認識されないとき	62
4.2 用紙がつまったとき	64
4.3 給紙のトラブル	69
4.4 スキャン結果がおかしいとき	71
4.5 エラーコードが表示される時	72

4.1

スキャナが認識されないとき

コンピュータがスキャナを認識しない場合は、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	スキャナが正しく接続されていない
対処方法	スキャナを SCSI カードに正しく接続してください。

原因	SCSI カードが正しく認識されていない
対処方法	SCSI カードのマニュアルを参照して、SCSI カードを正しく取り付けてください。また、使用している OS に応じて次の確認をしてください。

< Windows95 >

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [システム] - [デバイスマネージャ] で「SCSI コントローラ」に×や！が表示されていないか確認してください。表示されているときは、SCSI カードのマニュアルを参照して、SCSI カードの設定をし直してください。

< WindowsNT >

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [SCSI アダプタ] で SCSI カードが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されていないときは、SCSI カードのマニュアルを参照して、SCSI カードの設定をし直してください。

原因	他の SCSI 機器と SCSI-ID が重複している
対処方法	接続しているすべての SCSI 機器の SCSI-ID を確認し、重複しないように設定し直してください。

原因	ターミネータが正しく接続されていない
対処方法	デイジーチェーンの終端に接続する SCSI 機器にターミネータを接続してください。ターミネータ機能を内蔵する SCSI 機器の場合はターミネータ機能を有効にしてください。

原因	スキャナの電源をコンピュータより後から ON にした
対処方法	コンピュータとスキャナの電源を OFF にし、スキャナの電源を ON にしてから、コンピュータの電源を ON にしてください。

原因	スキャナの電源が OFF になっている
対処方法	コンピュータの電源を OFF にし、スキャナの電源を ON にしてから、コンピュータの電源を ON にしてください。

原因	スキャナの電源コードがスキャナまたは AC コンセントから抜けている
対処方法	コンピュータの電源を OFF にし、スキャナの電源コードを正しく接続してください。そのあと、スキャナの電源を ON にしてから、コンピュータの電源を ON にしてください。

原因	SCSI カードがスキャナに対応していない
対処方法	ドライバ・アプリケーションに対応した SCSI カードを使用してください。

4.2 用紙がつまったとき

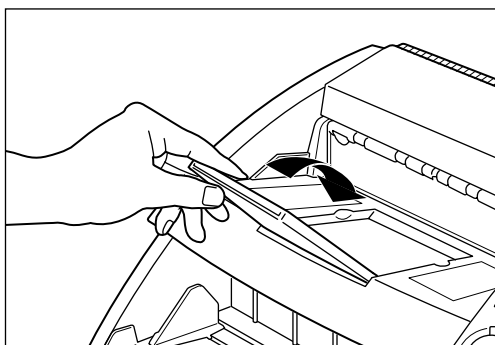
スキャン中に停止し、カウンタ表示部に「PXX」と表示されたときは用紙がつまっています。次の手順にしたがって、つまった用紙を取り除いてください。



- ・紙づまりを取り除くときは慎重に行ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。また、原稿を破損することがあります。
- ・つまった用紙はすべて取り除いてください。破れた用紙などが機械内部に残っていると、引き続き用紙がつまったり、故障の原因になります。
- ・上部ユニットを開閉するときは、手をはさまないように注意してください。

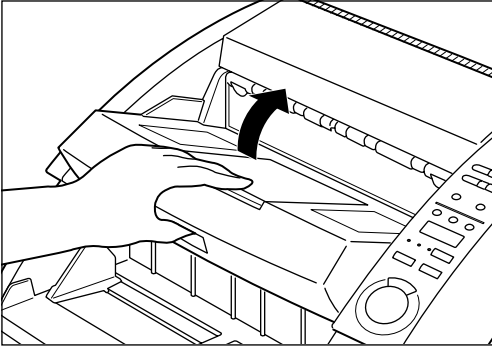
給紙部での紙づまりの場合

- 1 原稿台や排紙トレイに残っている原稿を取り除きます。
- 2 排紙トレイに着脱式トレイや排紙補助板が取り付けられている場合は、取り外します。排紙補助トレイが開いているときは排紙補助トレイを閉じます。

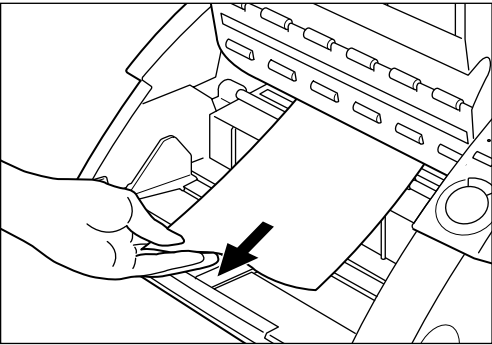


3 上部ユニットを開きます。

開閉ボタンを押し、上部ユニットが止まるまでゆっくりと持ち上げます。

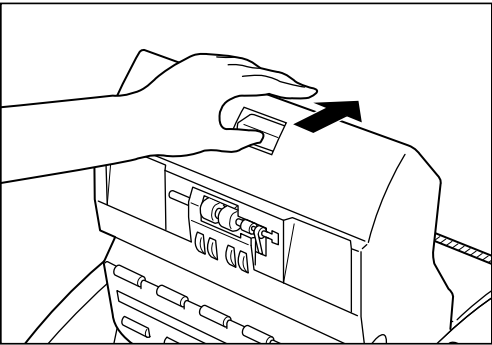


4 スキャナ内部に残っている用紙を取り除きます。

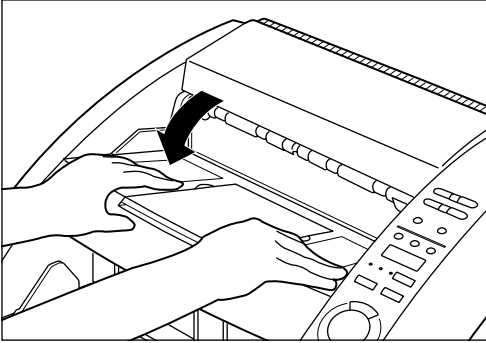


5 上部ユニットを閉じるときは、一度奥に押してから、手を放します。

手を放すと、上部ユニットはゆっくりと下がり始めます。手で無理に押し下げないでください。スキャナの故障の原因になります。

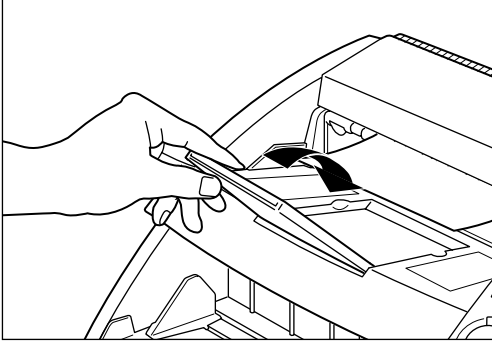


- 6** 上部ユニットが下がりきったら、両側を両手でしっかりと押して閉じます。片側だけを押し、反対側が閉まりきらないことがあります。カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。

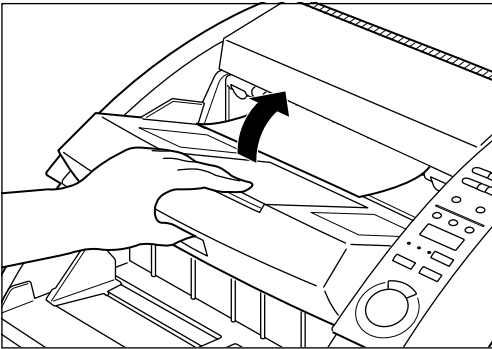


排紙部での紙詰まりの場合

- 1 原稿台や排紙トレイに残っている原稿を取り除きます。
- 2 排紙トレイに着脱式トレイや排紙補助板が取り付けられている場合は、取り外します。排紙補助トレイが開いているときは排紙補助トレイを閉じます。



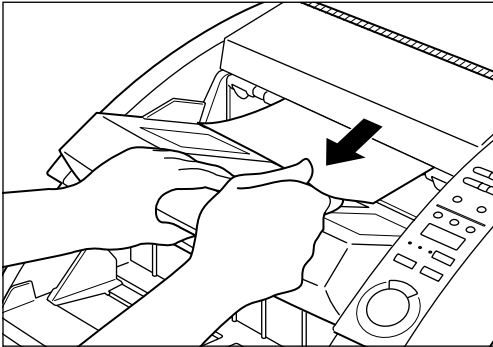
- 3 上部ユニットを開きます。
開閉ボタンを押し、上部ユニットを少し持ち上げます。



4

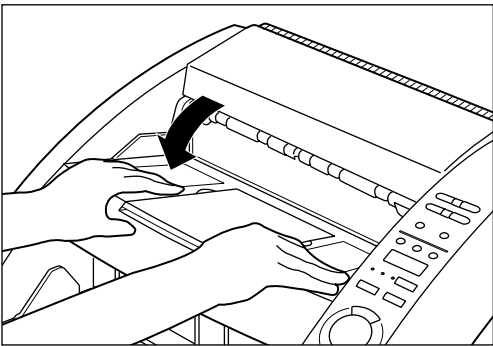
困ったときは

4 排紙部に残っている用紙を取り除きます。



5 上部ユニットの両側を両手でしっかりと押して閉じます。

片側だけを押し、反対側が閉まりきらないことがあります。カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。



4.3 給紙のトラブル

原稿が正常に給紙されなかったり、検知機能がうまく働かなかったりする場合には、以下に示す方法で対処してください。

状況	紙づまりが発生する
原因と対処方法	<p>原稿のサイズ・紙厚が、本スキャナで扱える範囲内かどうか、また原稿の紙質などが不適切でないかどうか確認してください。</p> <p>原稿についての注意事項は、「原稿について」(P.34)を参照してください。</p> <p>原稿のすべりが悪いために給紙エラーが起きている可能性があります。給紙調節レバーを切り替えて調節してください。(P29)</p> <p>本体内部のローラーが汚れたり、摩耗していたりすると、紙づまりが発生します。</p> <p>ローラーが汚れている場合は清掃してください。(P.77) ローラーが摩耗している場合は交換が必要です。弊社サービスマンまでご連絡ください。</p>

状況	原稿台が上がらず、「カチッ」と音がする
原因と対処方法	<p>原稿は、置かれていた環境によって重量が増加することがあります。そのため、規定以下の積載量でも実際には規定以上の重量になり、原稿台が上がらなくなることがあります。その場合は、セットする原稿の量を減らしてスキャンをやり直してください。</p>

状況	原稿が重送されていないのに重送エラーになる(重送誤検知)
原因と対処方法	<p>ファンクションシートを使っている場合、ファンクションシートをコピーした用紙のサイズ・紙厚が スキャンする原稿と異なっていると、重送と判断されてエラーになることがあります。その場合は重送検知をOFFにしてスキャンしてください。または、ファンクションシートを、原稿と同じサイズ・紙厚の用紙にコピーし直して使ってください。</p>

状況	重送検知ができない
原因と対処方法	<p>重送検知がONになっていても、幅が130mm以下の原稿は重送検知できません。</p>

状況	原稿が斜行していないのに斜行エラーになる
原因と対処方法	原稿の端から5mm以内に文字・絵がある場合や、原稿の地色が濃い場合、斜行していると誤認識されてエラーになることがあります。その場合は斜行検知をOFFにしてスキャンしてください。または、原稿を別の用紙にコピーして、端の余白を大きく(あるいは地色を薄く)してからスキャンしてください。

状況	インプリンタを使用すると原稿が汚れる
原因と対処方法	インプリンタ奥のガイド板に開いている穴にインクが付着しています。穴を綿棒で清掃してください。

4.4 スキャン結果がおかしいとき

スキャン結果の画像に問題がある（画像が鮮明でなかったり、画像に筋や汚れが入ったりするなど）場合は、以下の原因が考えられます。状況を確認し、対応する処置をしてください。

読み取りガラスやローラーが汚れている

読み取りガラスやローラーが汚れていると、スキャン結果の画像にもその汚れが出てしまいます。

読み取りガラス、ローラーの清掃をしてください。清掃の方法については、「第5章 日常のお手入れ」(P.75)を参照してください。

スキャン条件が不適當

スキャン条件の設定が不適當だと、スキャン結果の画像が不鮮明になったり、黒ずんだ感じになったりします。

「明るさ」などのスキャナの設定を確認してください。

スキャン結果の画像がぼやけたり、原稿が全く読み取れなかったりする場合は、「明るさ」の設定値が高すぎる可能性があります。スキャン結果の画像が黒ずんだ感じになる場合は、「明るさ」の設定値が低すぎる可能性があります。

また、ドライバや、お使いのアプリケーションの設定も確認してください。

ドライバまたはアプリケーションが正しく動作していない

スキャン条件を調整してもまだ正しくスキャンできない場合は、ドライバまたはお使いのアプリケーションが正しく動作していない可能性があります。

ドライバまたはお使いのアプリケーションを再インストールしてください。

ドライバのインストール方法については、別冊の「ISIS/TWAIN Driver 使用説明書」を参照してください。

お使いのアプリケーションのインストール方法については、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

その他の原因

コンピュータがスキャナを正常に認識し、ドライバおよびアプリケーションも正しくインストールされている状態でスキャンできない場合があります。この場合は、コンピュータとSCSIカードが合っていないことが考えられ、スキャナのユーザモードの設定(P.59)で同期転送をOFFにすることで、エラーメッセージが出なくなることもあります。スキャナの同期転送をOFFにしてもエラーメッセージが出る場合は、コンピュータまたはSCSIカードのメーカーにお問い合わせください。

上記の処置をしても問題が解消されない場合は、お買い求めの販売店または担当サービスまでご連絡ください。

4.5 エラーコードが表示されるとき

スキャナ本体の異常や給紙・排紙のミスなどが発生した場合は、操作パネルのカウンタ表示部にエラーコードが表示されます。

それぞれのエラーの原因と対処方法は次のとおりです。

エラーコード d01, d02, d03

原因 原稿が重なってスキャンされた

対処方法 ストップキーを押すとカウンタが元に戻ります。原稿とスキャンした画像を確認してスキャンをやり直してください。

エラーコード C01

原因 上部ユニットが開いている

対処方法 上部ユニットを閉じてください。

エラーコード C02

原因 インプリンタカバーが開いている（インプリンタ装着時）

対処方法 インプリンタカバーを閉じてください。

エラーコード C03

原因 上部ユニットとインプリンタカバーが開いている（インプリンタ装着時）

対処方法 上部ユニットとインプリンタカバーを閉じてください。

エラーコード C04

原因 エンドーサ ED600 のカバーが開いている（エンドーサ ED600 装着時）

対処方法 エンドーサ ED600 のカバーを閉じてください。

エラーコード C05

原因 上部ユニットとエンドーサ ED600 のカバーが開いている
（エンドーサ ED600 装着時）

対処方法 上部ユニットとエンドーサ ED600 のカバーを閉じてください。

エラーコード	C06
原因	インプリンタカバーとエンドーサ ED600 のカバーが開いている (インプリンタ、エンドーサ ED600 装着時)
対処方法	インプリンタカバーとエンドーサ ED600 のカバーを閉じてください。

エラーコード	C07
原因	上部ユニット、インプリンタカバーとエンドーサ ED600 のカバーが開いている (インプリンタ、エンドーサ ED600 装着時)
対処方法	全てのカバーを閉じてください。

エラーコード	E20, E21, E22, E23, E24, E25, E27, E28, E29, E30, E40, E41, E80, E85
原因	本体内部の異常
対処方法	サービスマンによる修理が必要です。電源を OFF にし、お買い求めの販売店または担当サービスにエラーコードを連絡してください。

エラーコード	L01
原因	データ容量が大きいため、本体のメモリが不足している
対処方法	ストップキーを押すとカウンタが元に戻ります。設定した機能を利用するにはオプションの増設メモリが必要です。お買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。設定する機能に必要なメモリの容量は、「付録 DR-5020/5080C 読み取りモード対応表」(P.81) を参照してください。

エラーコード	L02
原因	データ容量が大きいため、本体のメモリが不足している
対処方法	ストップキーを押すとカウンタが元に戻ります。A3サイズ原稿をスキャンするときに両面スキャンを設定すると、このエラーが表示されます。片面スキャンにするか、読み取りサイズなどの設定を変更してください。

エラーコード	U01
原因	ペリフェイスキャンで、設定した枚数よりスキャンする原稿の枚数が多い
対処方法	枚数カウント時に重送された可能性があります。ストップキーを押すとカウンタが元に戻りますので、すべての原稿がカウントされているか枚数を確認してスキャンをやり直してください。

エラーコード U02

原因 ベリファイスキャンで、設定した枚数よりスキャンした原稿の枚数が少ない
対処方法 スキャン時に重送された可能性があります。ストップキーを押すとカウンタが元に戻りますので、すべての原稿が正しく読み取られているか、スキャンした画像と原稿の枚数を確認してスキャンをやり直してください。

エラーコード H01

原因 インプリンタ(オプション)のインクカートリッジが未装着
対処方法 カートリッジを正しく取り付けてください。

エラーコード H02

原因 エンドーサED600(オプション)の接続異常
対処方法 エンドーサED600を正しく接続してください。

エラーコード P00, P01, P02, P03, P04, P06, P08, P10, P20

原因 スキャナの紙づまり
対処方法 スキャナにつまっている原稿を取り除いてください。(P.64)

エラーコード P30

原因 エンドーサED600の紙づまり
対処方法 エンドーサED600取扱説明書に従い、エンドーサED600につまっている原稿を取り除いてください。

エラーコード P80

原因 給紙エラー
対処方法 上部ユニットを一度開いてから閉じてください。

エラーコード J18

原因 原稿が斜行しました。
対処方法 スキャナ内部に残っている原稿を取り除いてください。
その後、斜行を検知した原稿の画像が正しく読み取られているか確認してからスキャンをやり直してください。

第 5 章

日常のお手入れ

ここでは、スキャナのお手入れの方法について説明します。

5.1 日常のお手入れ	76
-------------------	----

5.1

日常のお手入れ

読み取り品質を維持するために、次のような清掃を行ってください。

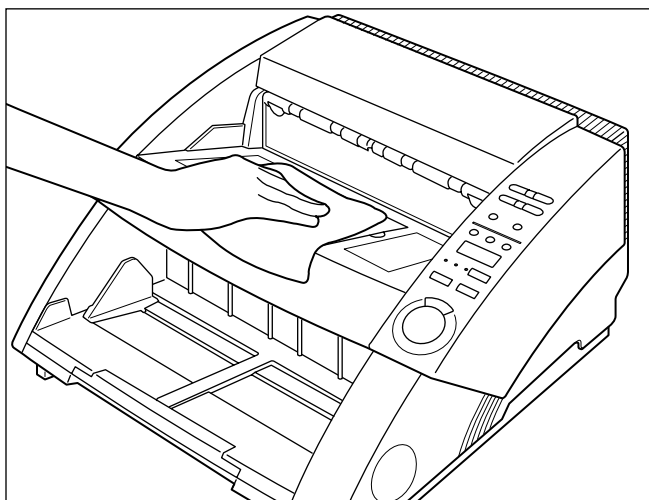


清掃の前には、コンピュータとスキャナの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が入ったまま清掃をすると感電の原因となります。

アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性の有機溶剤は使用しないでください。火災や感電の原因になります。また、スキャナの外装が変形、変色したり溶解する恐れがあります。読み取りガラス部分に水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。

本体の清掃

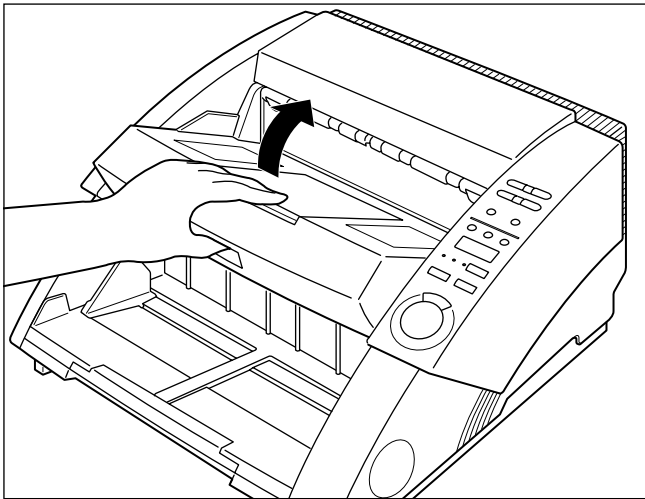
本体表面は、水または中性洗剤を含ませて固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



読み取りガラスとローラーの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れたりする場合は、本体内部にある読み取りガラスやローラーが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

- 1 電源スイッチを OFF にし、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 排紙トレイに着脱式トレイや排紙補助板が取り付けられている場合は、取り外します。排紙補助トレイが開いているときは排紙補助トレイを閉じます。
- 3 上部ユニットを開きます。
開閉ボタンを押し、上部ユニットが止まるまでゆっくりと持ち上げます。

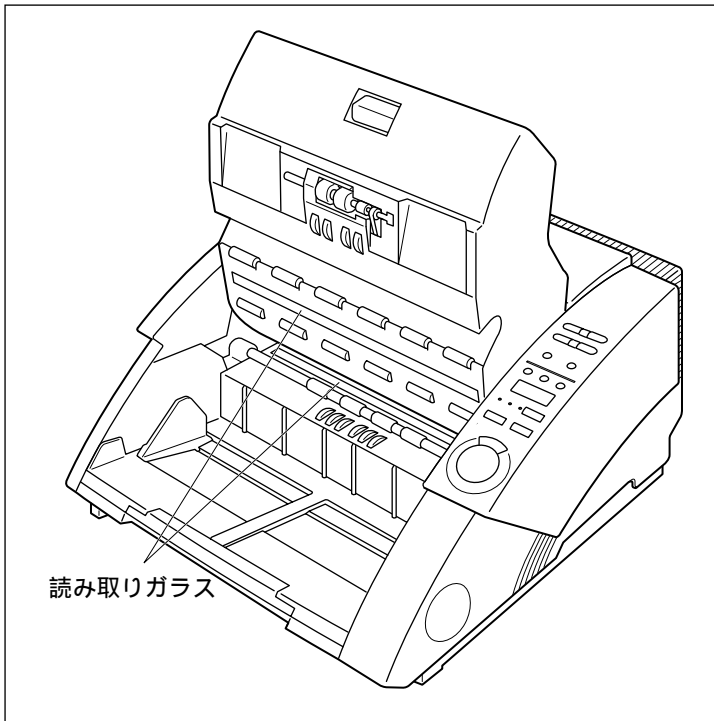


4 きれいな乾いた布で読み取りガラスを拭きます。

読み取りガラスは上下に2つあります。両方ともきれいに拭いてください。

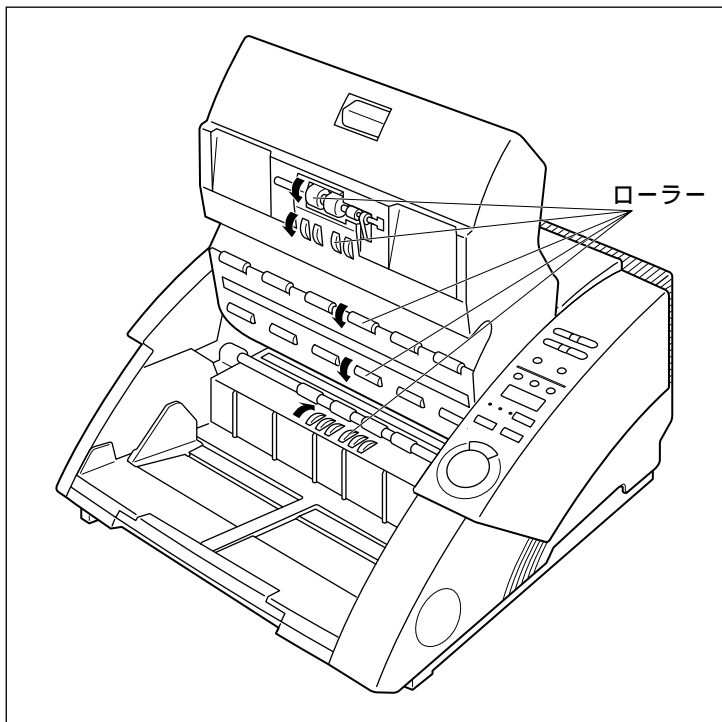


水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。

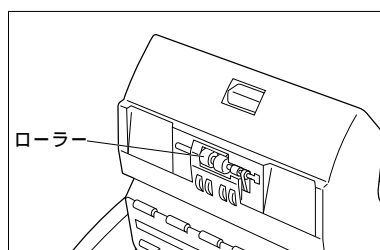


5 水や中性洗剤を含ませて固くしぼった布で、ローラーを回転させながら汚れを拭き取ります。

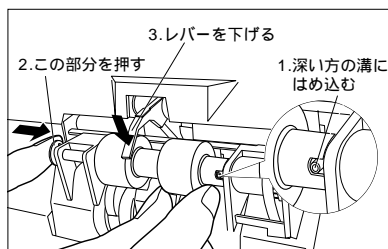
ローラーは図で示した箇所にあります。矢印の方向に回転させながら拭いてください。



ヒント



(A)



(B)

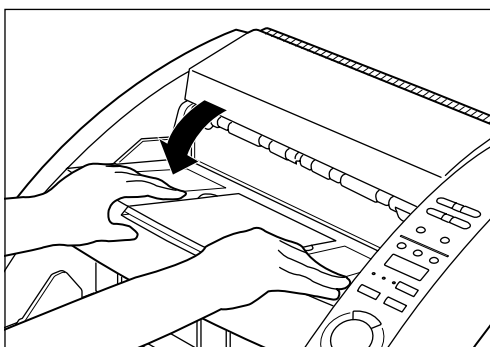
- ・ 給紙部のローラー(図 A)が外れた場合は、図 B の要領で取り付けてください。
- ・ 上部ユニットを元に戻す前に、給紙部のレバー(図 B)を必ず下げておいてください。レバーが上がったままだと、原稿をスキャンするときに給紙エラーが発生します。

6 きれいな乾いた柔らかい布でローラーを拭きます。

- 7 上部ユニットを閉じるときは、一度奥に押してから、手を放します。手を放すと、上部ユニットはゆっくりと下がり始めます。手で無理に押し下げないでください。スキャナの故障の原因になります。



- 8 上部ユニットが下がりきったら、両側を両手でしっかりと押して閉じます。片側だけを押し、反対側が閉まりきらないことがあります。カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。



メモ

ローラーを清掃しても、紙づまりや重送(原稿が重なって送られること)がたびたび起こる場合は、ローラーが摩耗している可能性があります。その場合はローラーの交換が必要です。お買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

電源ケーブル

電源プラグを長期間コンセントに接続したままにすると、コンセントの接続部分にほこりがたまり、火災や感電の原因となります。定期的に清掃することをおすすめします。

インプリンタ

インプリンタ奥のガイド板に開いている穴にインクが付着していると、インプリンタ使用時に原稿が汚れることがあります。穴に付着したインクを綿棒などで清掃してください。

付 録

DR-5020/5080C 読み取りモード対応表

読み取りモードによってはスキャナ本体側で対応していないためエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、下表を参考にして本体側のメモリの増設(DR-5080Cのみ)を行ってください。



メモ

- ・解像度 400x400dpi、両面モード時、原稿幅が 216mm を越える原稿はスキャンできません。
- ・お使いのアプリケーションおよびスキャナドライバによっては、すべての読み取りモードに対応しているとは限りません。アプリケーションおよびスキャナドライバの説明書をよくお読みください。

DR-5080C 本体メモリ 64MB (標準) : 対応 x : 未対応

読み取りモード	解像度 (横×縦)	両面						片面									
		A3	A4	B4	LDR	LGL	LTR	A3	A4	B4	LDR	LGL	LTR				
2 値	文字モード (白黒)	400×400	x		x	x											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
		200×200															
	写真モード (誤差拡散)	400×400	x		x	x											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
		200×200															
グ レ ー ス ケ ー ル	4階調	400×400	x		x	x											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
	16階調	400×400	x		x	x											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
	256階調	400×400	x		x	x											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
カ ラ ー	3ビット	400×400	x		x	x											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
		200×200															
	6ビット	400×400	x		x	x											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
		200×200															
	12ビット	400×400	x		x	x											
		300×300															
		300×150															
		240×240	x														
		200×200															
	24ビット	400×400	x	x	x	x	x	x	x	x			x	x			
300×300		x		x	x												
300×150																	
240×240		x															
200×200																	

DR-5080C 本体メモリ 128MB (オプション)

: 対応

× : 未対応

読み取りモード		解像度 (横×縦)	両面					片面									
			A3	A4	B4	LDR	LGL	LTR	A3	A4	B4	LDR	LGL	LTR			
2 値	文字モード (白黒)	400×400	×		×	×											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
			200×200														
	写真モード (誤差拡散)	400×400	×		×	×											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
			200×200														
	グ レ ー ス ケ ー ル	4階調	400×400	×		×	×										
			300×300														
			300×150														
			240×240														
			200×200														
16階調		400×400	×		×	×											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
			200×200														
256階調		400×400	×		×	×											
		300×300															
	300×150																
	240×240																
		200×200															
カ ラ ー	3ビット	400×400	×		×	×											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
			200×200														
	6ビット	400×400	×		×	×											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
			200×200														
	12ビット	400×400	×		×	×											
		300×300															
		300×150															
		240×240															
			200×200														
	24ビット	400×400	×		×	×											
300×300																	
300×150																	
240×240																	
		200×200															

DR-5020

: 対応

× : 未対応

読み取りモード		解像度 (横×縦)	両面					片面								
			A3	A4	B4	LDR	LGL	LTR	A3	A4	B4	LDR	LGL	LTR		
2 値	文字モード (白黒)	400×400	×		×	×										
		300×300														
		300×150														
		240×240														
			200×200													
	写真モード (誤差拡散)	400×400	×		×	×										
		300×300														
		300×150														
		240×240														
				200×200												

仕 様

	DR-5020	DR-5080C
形式	卓上型シートスルー方式	
読み取り原稿サイズ	幅 : 55 ~ 295mm* 長さ : 70 ~ 432mm 厚さ : 0.06 ~ 0.15mm (自動給紙時) 0.06 ~ 0.2mm (手差し給紙時) *給紙可能な最大原稿幅は297mm	
給紙方式	手動 / 自動 / 手差し	
読み取り方法	コンタクトセンサ	
光源	黄緑1ラインLEDアレイ	3色 (RGB) 1ラインLEDアレイ
読み取りモード	おもて面 / 両面 / 裏面 2値 白黒 / 誤差拡散	おもて面 / 両面 / 裏面 2値 白黒 / 誤差拡散 グレースケール 4 / 16 / 256階調 カラー 3 / 6 / 12 / 24bit
読み取り解像度 (主走査 × 副走査)	疑似400 × 400dpi / 300 × 300dpi / 300 × 150dpi / 200 × 200dpi / 240 × 240dpi / 200 × 100dpi / 任意指定* *200 ~ 300dpiの間で10dpi単位	
読み取り速度 (最大値) (A4縦置)	2値 片面 200 × 200dpi 50枚/分 両面 200 × 200dpi 50枚/分	2値 片面 200 × 200dpi 50枚/分 両面 200 × 200dpi 50枚/分 グレースケール (256階調) 片面 200 × 200dpi 27枚/分 300 × 300dpi 15枚/分 両面 200 × 200dpi 19枚/分 300 × 300dpi 9枚/分 カラー (24ビット) 片面 200 × 200dpi 9枚/分 300 × 300dpi 5枚/分 両面 200 × 200dpi 6枚/分 300 × 300dpi 3枚/分
自動給紙積載量	A4 (LTR) 以下 最大約500枚 (80g/m ²) A4 (LTR) 以上 最大約200枚 (80g/m ²)	
その他の機能	自動原稿サイズ検知、AE 自動紙厚調整、原稿枚数カウント機能 重送検知、斜行補正、ドロップアウトカラー スキャナコントロールシートによるモード切り替え 他	
寸法	262 (高さ) × 427 (幅) × 485 (奥行き) mm	
質量	約20kg	
電源	AC100V (50 / 60Hz)	
消費電力	最大120W	
騒音	70db以下	
使用環境	温度 : 10 ~ 32.5 湿度 : 20 ~ 80%RH (インプリンタ使用時 30 ~ 80%RH)	

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

オプション

名 称	機 能
増設メモリ(128MB) 【DR-5080Cのみ】	標準メモリ(64MB)を増設メモリに載せ替えることにより、さらに 精細なスキャン条件*での処理が可能になります *メモリの増設によって可能になるスキャン条件（読み取りモード、解像度、用紙サイズ などの組み合わせ）については、「付録」(P.81)を参照してください。
インプリンタ	原稿をスキャンした後、原稿のおもて面に数字、アルファベット、 記号などの文字を印字します
バーコードデコーダ	原稿中のバーコードを読み取り認識します
エンドーサ	原稿をスキャンした後、原稿のうら面に8桁の数字と任意の文字を押 印します

各オプションの詳細については、お買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

索引

- アルファベット -

Auto	36,43
Count Only キー	16,17,49,54
DR-5020/5080C の特長	12
Feeding Option キー	16,17,36,54
Manual	36,46
New File キー	16,17,54
SCSI ID	23,62
SCSI ID とターミネータの設定	23
SCSI ケーブルの接続	22
SCSI コネクタ	15,22
SCSI 同期転送	59
Semi-Auto	36,40
Simplex/Duplex キー	16,54
Text/Picture キー	16,54

- あ行 -

アースコードの接続	24
アース端子	15
明るさ設定キー	16,17,54
安全にお使いいただくために	6
移動するとき	9,21
イメージ選択キー	16,54
インプリンタ	55,57,59,72,73,80,84
インプリンタカバー	14
エラーコード	72
エンドーサ	59,72,73,84
お手入れ	76
オプション	84

- か行 -

開閉ボタン	14
カウンタ表示部	16,17
カウントオンリーモード	49,59
各部の名称とはたらき	14
- 前面	14
- 背面	15
片面 / 両面キー	16,54
紙厚固定モード	55,57
紙づまり	64
- 給紙部での紙づまり	64
- 排紙部での紙づまり	67

基本設定(スキャン条件)	53,54
給紙・排紙の準備	25
給紙調節	29
給紙調節レバー	14
給紙のトラブル	69
給紙部での紙づまり	64
給紙方法	36
給紙方法選択キー	16,17,36,54
原稿ガイド	14
原稿ガイド用ラベル	18,29
原稿検知	59
原稿台	14
原稿について	34
原稿枚数確認キー	16,17,49,54
原稿枚数のカウント	49
コンピュータとの接続	22
梱包品の確認	13

- さ行 -

システム環境	20
斜行検知	59
斜行補正	12
重送検知	55,57
重送誤検知	34,69
手動紙厚調整	55,56
仕様	83
上部ユニット	14
新規ファイルキー	16,17,54
スキャナが認識されないとき	62
スキャナコントロールシート	52
スキャナの移動	9,21
スキャナの接続	21
スキャン結果がおかしいとき	71,77
スキャン条件の設定	53
スキャンの手順	36
スタートキー	16,17
ストッパー	14,26
ストップキー	16,17,54
設置場所について	8
センサ	44
操作パネル	14,16
操作パネルブザーの設定	59
増設メモリ	84

- た行 -

ターミネータの設定	23,62
着脱式トレイ	18,28
通気孔	15
ディップスイッチ	15,23
電源について	9
電源ケーブル	80
電源コードコネクタ	15,24
電源コードの接続	24
電源スイッチ	14,30
電源の ON・OFF	30,31
登録されたスキャナ設定を復元する	55,58
ドロップアウトカラー	12

- な行 -

日常のお手入れ	76
- 本体の清掃	76
- 読み取りガラスの清掃	77
- ローラーの清掃	77
日常の取り扱い	6

- は行 -

バーコードデコーダ	59,84
バーコードの設定	59
排紙トレイ	14
排紙部での紙づまり	67
排紙補助板	18,27
排紙補助トレイ	14,26
ファイル区切りシート	52
ファンクションキー	16,54
ファンクションキーでの設定 (スキャン条件)	53,55
ファンクションキーラベル	18
ファンクションシート	51
補助トレイ	14,25
補助ワイヤ	14,25
本体の清掃	76

- や行 -

ユーザモードの設定(スキャン条件)	53,59
用紙がつまったとき	64

読み取りガラスとローラーの清掃	77
読み取りモード対応表	81

- ら行 -

リモート	36,37
ローラーの清掃	77